

令和7年度

みどり市教育に関する事務の管理
及び執行状況の点検及び評価報告書
【令和6年度事業】

令和7年12月
みどり市教育委員会

目次

— 第1章 —

I	はじめに.....	- 1 -
II	みどり市教育委員会における点検及び評価の流れ.....	- 1 -
	1 点検及び評価の対象.....	- 2 -
	2 点検及び評価の方法.....	- 2 -
	3 第三者の知見の活用.....	- 2 -
	4 点検及び評価結果の議会への報告と公表.....	- 2 -
III	令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の点検結果.....	- 2 -
	1 教育委員会議の開催数.....	- 2 -
	2 審議内容.....	- 3 -
IV	令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の自己評価.....	- 6 -
V	令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の自己評価に対する事務事業評価委員の意見等.....	- 8 -

— 第2章 —

VI	令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価にかかる評価項目と基準.....	- 10 -
VII	令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の結果.....	- 11 -
VIII	令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の集計結果.....	- 11 -
IX	令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の結果に対する事務事業評価委員の意見等.....	- 13 -
X	むすびに.....	- 15 -

— 第1章 —

I はじめに

みどり市教育委員会は、令和6年3月に「令和6年度みどり市教育行政方針及びみどり市教育行政の重点施策」を公表し、令和6年7月に「令和6年度教育要覧 みどり市の教育」を発行して、施策や事業の概要の周知を図っております。

令和7年度の報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和6年度に行われたみどり市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検と評価を行い、翌年度以降の教育行政に反映できるよう、その結果を市民の皆様に公表し、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平19法97・全改、平26法76・旧第27条繰上・一部改正）

みどり市の教育長及び教育委員

R7.8.1 現在

役 職 名	氏 名	摘 要
教 育 長	保 志 守	
委 員	石 戸 悦 史	教育長職務代理者
委 員	金 子 祐 次 郎	
委 員	岩 野 ひ ろ み	保護者委員
委 員	小 屋 佳 枝	

II みどり市教育委員会における点検及び評価の流れ

教育委員会が行う事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関し、その具体的な項目や指標、市議会への報告、公表の方法等については、特に国から基準が示されているものではなく、それぞれの実情を踏まえて決定することとされています。

みどり市教育委員会では、これまでの経緯を踏まえつつ、次の流れに沿って令和6年度事業の点検及び評価を行いました。

1 点検及び評価の対象

- (1) 令和6年度 みどり市教育委員会の運営状況
- (2) 第2次みどり市総合計画（後期基本計画）を根幹として策定した「令和6年度みどり市教育行政方針」に基づき、計画・実施された主要49事業
*事業評価の詳細は、別冊『「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検・評価の結果【令和6年度事業】』をご覧ください。

2 点検及び評価の方法

- (1) みどり市教育委員会の運営状況については、教育委員会議の開催実績や審議内容等を点検し、自己評価をします。
- (2) みどり市教育委員会主要事業の点検及び評価は、教育委員会事業評価シートを使って、対象となる49事業について自己評価を行います。
*教育環境整備のための施設維持管理事業や施設整備改修事業は評価対象とせず、実績を一覧にまとめ、資料として表示することにしました。

3 第三者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するため、学識経験を有する事務事業評価委員から意見等を求め、内容の検証と評価、改善に対する助言や提言をいただきます。

【事務事業評価委員】

所属等	氏名	摘要
桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科 教授	橋爪 博幸	令和7、8年度 委嘱
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 社会教育企画調整官	林 剛史	令和7、8年度 委嘱

4 点検及び評価結果の議会への報告と公表

報告書は、みどり市議会議長へ提出します。また、市民への公表は、本報告書と「別冊「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検・評価の結果【令和6年度事業】」の全てを、みどり市ホームページに掲載します。

Ⅲ 令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の点検結果

1 教育委員会議の開催数

みどり市教育委員会会議規則に基づき行った定例会と臨時会の令和6年度の開催状況は次のとおりです。

- ・定例会……………12回（傍聴件数4件）
- ・臨時会……………1回
- ・全員協議会……………12回

[参考]

- ・総合教育会議……1回

2 審議内容

○定例会及び臨時会

【事務委任規則第1条の規定により会議に諮った議案】

・学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること	2件
・学校その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること	0件
・教育長の任免その他の人事を行うこと	0件
・職員(県費を除く)の任免、分限(心身故障を除く)及び懲戒を行うこと	1件
・県費負担教職員の任免、その他進退及び懲戒について内申すること	3件
・教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価に関すること	1件
・教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	7件
・教科用図書の採択に関すること	1件
・教育予算その他議会の議決を要する議案の原案を決定すること	11件
・教育委員会附属機関の委員等を委嘱すること	20件

【同規則第2条に基づき会議に諮った議案】

・奨学金貸与者申請者の資格要件認定	1件
・就学援助費支給認定	6件
・教育委員会表彰者の決定	2件

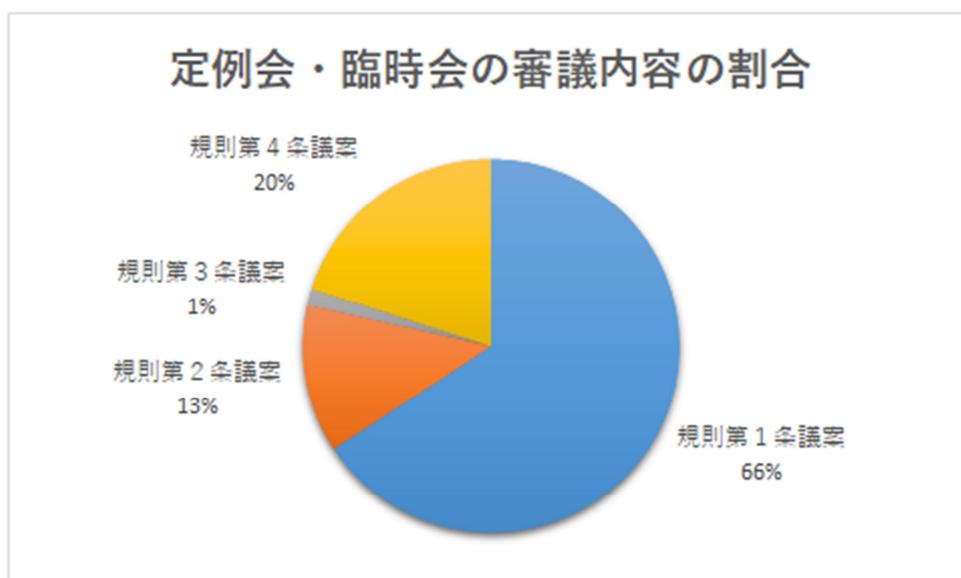
【同規則第3条に基づき会議に諮った議案】

・教育長の臨時代理に関すること	1件
-----------------	----

【同規則第4条により教育長が専決したものうち、会議に報告した案件】

・一般職員・会計年度任用職員の任免報告	10件
・教育委員会告示及び教育委員会訓令の制定又は改廃報告	4件

上記の合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70件



○教育長に委任された事務の管理及び執行状況（主な報告内容）
みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会の報告

○全員協議会（主な協議内容）
学校給食費未収金への対応状況、市立小中学校の問題行動等の状況、市内小中学校のコミュニティ・スクールへの移行、英語検定料助成事業の実施、部活動の在り方検討委員会、MIDORI ジュニアアカデミー事業、学校適正規模適正配置委員会中間報告、相澤忠洋資料の群馬県登録有形文化財登録、みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会答申の概要、令和7年度からの夏季休業の延長、東公民館の東支所への移転、令和6年度みどり市いじめ防止子ども会議、みどり市立富弘学園構想の概要、みどり市奨学金制度の拡充 など

[参考]

○総合教育会議
みどり市立学校適正規模・適正配置についての協議
以下の項目について協議を行った。

- ①「基本方針の概要について」
- ②「地区別検討委員会について」
- ③「部活動の地域移行について」
- ④「学校給食施設について」
- ⑤「学校プール施設の方向性について」

3 教育委員の活動状況

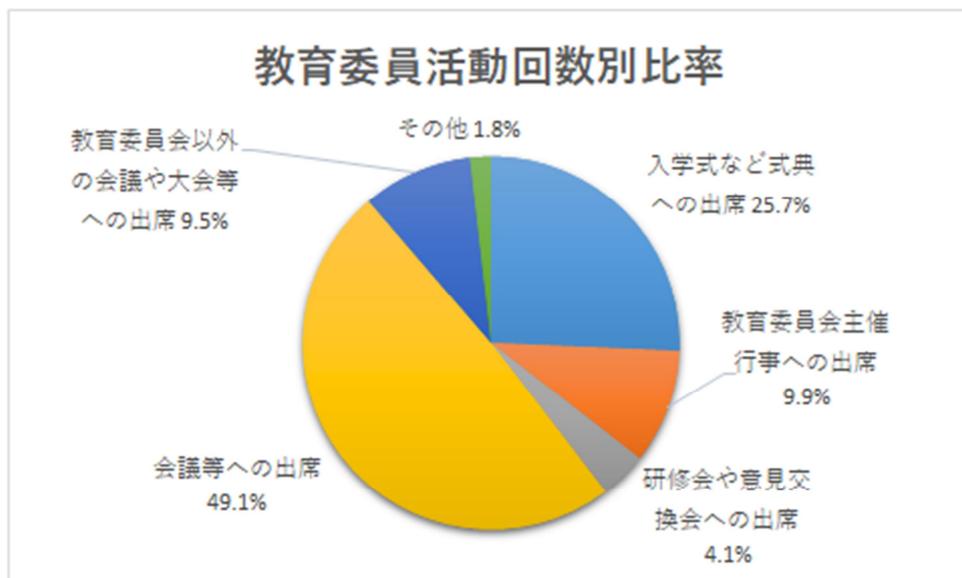
(1) 施設訪問等

期日	訪問先	教育委員の主な感想等
7月10日 (水)	①笠懸中学校（学校概要・学校運営説明、自校給食試食、意見交換、授業・校舎見学） ②笠懸図書館（館内見学、意見交換） ③西鹿田グリーンパーク建設予定地（状況確認）	○笠懸中学校 ・笠懸小からあがる生徒が少ないことに驚きを感じた。 ○笠懸図書館 ・収蔵状況が確認でき、管理が行き届いており安心した。 ○西鹿田グリーンパーク ・工事の進捗状況が気になった。
11月12日 (金)	①大間々北小学校（学校概要・学校運営説明、給食喫食、意見交換、授業・校舎見学） ②大間々中学校（学校概要・学校運営説明、意見交換、授業・施設見学）	○大間々北小学校 ・児童ひとりひとりがいきいきと活動している状況が確認できた。 ○大間々中学校 ・生徒ひとりひとりにあった授業がされており安心した。

(2) 教育委員活動種別比率

令和6年度における教育委員（教育長を除く4人）の委員活動回数は、全体で222回となり、その比率は下記に示すとおりです。

- ① 入学式など式典への出席…………… 25.7%（57回）
 - ② 教育委員会主催行事への出席…………… 9.9%（22回）
 - ③ 研修会や意見交換会への出席…………… 4.1%（9回）
 - ④ 会議等への出席…………… 49.1%（109回）
 - ⑤ 教育委員会以外の会議や大会等への出席…………… 9.5%（21回）
 - ⑥ その他…………… 1.8%（4回）
- Total 100.0%（222回）



IV 令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の自己評価

教育委員会では、高い知性、豊かな情操と徳性、たくましく生きるための健康や体力を備え、社会の変化に主体的に対応できる市民の育成を目指して、令和6年度の教育行政方針を公表しました。この方針の策定に当たっては、第2次みどり市総合計画（後期基本計画）の重点取組及び基本政策との整合性を図るとともに、「みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示された重点施策及び事務事業にも配慮しました。

この方針の着実な推進を図るため、定期的に定例教育委員会議（以下「定例会」という。）と教育委員全員協議会（以下「協議会」という。）を開催しております。定例会は、年度当初に予め開催日時を決めて実施するとともに、会議の効率を高めるために基本的に協議会と同日開催で行っています。

令和6年度においては、定例会を12回、臨時会を1回開催しました。また、協議会は各課からの懸案事項の協議、報告のほか、東公民館の東支所への移転やみどり市奨学金制度の拡充などを協議し、計12回開催しました。なお、定例会及び協議会では、各委員から活発な意見を出し合いながらも効率的な会議を進行することができました。

令和6年度の定例会の審議内容としては、議会の議決を経るべき議案（予算等）のほか、教育要覧や教育行政方針などの策定について、これまで同様に比較的多くの時間を割いております。また、教育委員会規則等の一部改正や各委員の委嘱などについても慎重に審議しました。

会議の傍聴については、令和6年度は4名であり、令和5年度と比較し横ばいでしたので、議事日程や審議議案の内容など、情報発信の取り組みについて工夫し、さらなる傍聴への関心を高められるよう引き続き検討してまいります（令和3年度は2名、令和4年度は3名、令和5年度は4名）。

教育委員活動では、教育施設訪問を7月、11月の教育委員会議に併せ2回実施しました。

7月には、笠懸中学校を訪問し、学校長から笠懸中学校の教育方針の説明を受け、自校式の給食の試食も行いました。同日、笠懸図書館を訪問し、館内の見学を行い、収蔵書籍等の管理状況を確認し、その後、西鹿田グリーンパークに移動し、工事の進捗状況等の現況を確認しました。

11月には、大間々北小学校を訪問し、学校長から大間々北小学校の教育方針の説明を受け、意見交換を行いました。また、授業見学においては、児童一人一人がいきいきと活動している状況を見ることができました。その後、大間々中学校を訪問し、学校長から大間々中学校の教育方針の説明を受け、意見交換を行いました。

令和6年度の教育委員の年間にわたる活動は、定例会や施設訪問のほかに行事等への出席を含め、教育長を除き、平均して1人当たり55回（前年度63回）となりました。行事等の開催状況も異なる状況での出席回数の単純比較では減少しておりますが、各種研修会等へ出席し、教育行政に対する必要な知識の習得に努めております。

今後も引き続き各種研修会、総会及び大会等に積極的に参加し、教育行政に関する情報収集等や意見交換を行い、各自の資質向上に努めてまいります。

事務の執行において、生涯学習の推進では、「高齢者教室事業」においては、参加者からのアンケートを基に視察研修を含め7講座を実施し、前年度の最終受講者数229人から242人への増加を図ることができました。また、「多世代交流館事業」においては、SNSの活用や利用啓発のためのワークショップを行い、施設全体の利用者数を前年度の27,844人から29,671人へと増加することができました。

教育の充実では、中学生英語体験学習事業「MIDORI Summer English Camp」においては、50名の生徒が参加し、3日間の英語体験学習を実施し、参加者の97.7%が「また参加したい」と回答し、95.6%の生徒が各自の目標を達成している状況です。

文化財の保護と活用では、「岩宿博物館事業」において、相澤忠洋関係資料が群馬県登録有形文化財へ登録される等の効果もあり、観覧者数 18,450 人と対前年 1,594 人の増加となりました。

令和 6 年度の主な施設整備改修工事として、市内小中学校の体育器具改修工事、笠懸東小学校屋内運動場トイレ改修工事、笠懸北小学校給食調理用ボイラー改修工事、大間々北小学校児童玄関庇防水改修工事、大間々東小学校ペントハウス外壁改修工事、笠懸中学校トイレ改修工事、笠懸南中学校貯水槽補修工事、大間々東中学校南校舎一部外壁改修工事、あずま小中学校放送・音響設備更新工事等を行い、安全にかつ安心して施設を利用できる環境を整えました。

学校給食に関しては、安全・安心と安定的な給食の提供、教育的な見地から給食を食育の重要な教材として位置づけ、市内小・中学校に通う全児童・生徒に提供される給食費を公費負担とする無料化を引き続き継続しております。

これら、教育に関する活動の情報発信については「令和 6 年度みどり市教育行政方針及びみどり市教育行政の重点施策」や「令和 6 年度みどり市の教育」を印刷物として配布しております。また「みどり市教育委員会議」の提出議案とその結果は市ホームページで公表しております。このほか、市の広報誌「広報みどり」や市ホームページ、SNS 等を使って、教育委員会所管の諸事業について広報を行ってまいりました。

教育は年齢層や範囲が広いため、よりの確により分かりやすく、よりスピーディーな情報の発信を行うことができるよう、さらに努力してまいります。

教育を取り巻く環境が年々大きく変化する中で、教育委員会活動の活性化を図ること、また、活動の状況を市民や市議会に分かりやすく説明することは、開かれた教育委員会としての大切な責務であると考えています。今後も教育の課題はますます増えていくことが想定されます。引き続き一層の創意と工夫をもって、教育行政を担っていくことが求められていることを再認識し、令和 6 年度の自己評価とします。

V 令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の自己評価に対する事務事業評価委員の意見等

事務事業評価委員 桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科
教授 橋爪 博幸

- 教育委員の活動状況をまとめた「令和6年度事業 みどり市教育委員会の運営状況の自己評価」には、みどり市における小・中学校の運営を物心両面から支え、教育現場にたびたび訪問し、多くの先生と情報交換をはかり交流を深めている様子が見えます。それだけでなく、さまざまな研修会への出席、ワークショップの開催、市民へ向けた情報発信など教育委員会の多方面に展開する活動やサービスが行われており、たいへん有意義で高く評価できます。
- 令和6年度には定例会が12回、臨時会が1回、全員協議会が12回も開かれ、議論が活発に行われていることがうかがえます。ただ「定例会および臨時会」では、「教育委員会付属機関の委員等を委嘱する」案件で「20件」もあり、委員の人選で苦労しているのではないのでしょうか。「教育委員活動種別比率」には、「教員委員」4名の「活動回数」が、全体で「222回」とあり、委員一人あたりで計算すると55回を数えます。子育て中の「保護者委員」にとって活動計画を示されるだけでも大きな負担になると思われます。現在、教育長を除く4名で、各種会議への出席、教育現場の確認や審議、改善の提案、その他に公民館や博物館、美術館などの運営面でも意見を求められており、委員の皆様の負担が大きいに感じられますがいかがでしょうか。

事務事業評価委員 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課
社会教育企画調整官 林 剛史

- 令和6年度の教育委員会の運営状況は、コロナ禍が明けた前年の後半以降に続いていわば「巡航速度」に戻り、定例会や協議会においてさまざまな議論がされたことがうかがえます。こうした安定した時期こそ大切にしていきたいと考えます。例えば、事務局からの提案議案の多くは追認するだけになりがちなので、議論を活性化するためにも、可能な範囲で教育委員から協議議題を提案いただくのはいかがでしょうか。具体的には、議案が少なく、時間に余裕のある定例会・協議会に当たって、教育委員から「季節のお話」や「気になった出来事」などの話題を提供いただき、それを元に自由討議をするのも良いのではないのでしょうか。教育委員会の合議制としての強みを生かすためにも、日頃から、委員同士だけでなく事務局とも関連に発言し合える雰囲気醸成しておくことが重要であると考えます。
- また、教育委員の皆さんの活動も例年通りになったことがうかがえます。行事への出席等、活動頻度は年度によって多少の増減はあり得るものとして、個々の活動の質を高めていただくことが重要です。これについては、例えば、令和6年度において、教育委員による各種研修会等への参加もあったとの記載がありますが、どのような研修会であったのかその

内容についても少し言及があつてよいと思います。教育委員が参加した研修会の様子について、定例会や協議会で報告いただき、委員会で共有することも組織の活性化につながります。

- 令和6年度の総合教育会議の内容は、みどり市学校適正規模・適正配置に関する協議であつたという記載がありました。本議案の重要性に鑑みると、総合教育会議に相応しい議題ではありますが、総合教育会議は市長と直接対話できる貴重な機会ですので、教育委員会としても戦略的にこの会議を活用されることを期待します。例えば、地域づくりや教育と福祉・防災等の分野との連携など、次に総合教育会議に向けて議題とすべき議案について、事前に定例会や協議会で話し合つておくことで、総合教育会議の場を有効に活用できるのではないのでしょうか。
- 教育委員会からの情報発信については、継続的に取組を進めていただいていることに感謝申し上げます。現在検討が進められている学校適正規模・適正配置の在り方など、市民生活にとって影響が大きく、関心の高いテーマについては、円滑な合意形成のためにも、引き続き十分に情報発信していく重要となります。また、令和8年度はみどり市市制20周年を迎えます。合併前の笠懸・大間々・東の三地域の特性を活かしつつ、みどり市としての一体感のある教育を推進するとともに、その情報発信にも取り組んでいただければ幸いです。

— 第2章 —

VI 令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価にかかる評価項目と基準

教育行政の重要施策は、令和5年度から第2次みどり市総合計画（後期基本計画）に基づいて編成しているため、施策の基本事業は18事業となっております。評価シートは、昨年度52事業でしたが事務事業の見直し等を行ったため、49事業となりました。教育的視点での評価となっているため、市の事務事業評価（施策評価）と完全にリンクするものとはなっておりません。

しかし、総合計画のめざすべき方向性は明確であり、本評価も総合計画の目標に対する達成度を確認できるような内容とし、下記に示す評価視点等により自己評価を行いました。

【評価視点】

項 目	視 点
必要性	市民ニーズや社会情勢に合っているか。市が事業を行う必要があるか。
有効性	施策や運営方針等が目的の実現に貢献しているか。
経済性・効率性	事務の効率化、コストの縮減をしているか。
正確性・信頼性	安全・正確が確保されているか。情報提供をしているか。

【評価点数】※最高点は20点

点数 項目	5点	4点	3点	2点	1点
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了 ・市が行う事業として妥当性が特に高い ・法令事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う事業として妥当性が高い ・年次計画事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う事業として妥当性がある ・現状を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う事業として妥当性があまりない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う事業として妥当性がない
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了 ・施策目標を達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策目標をほぼ達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策目標にあともう一歩 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策目標にあまり達していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策目標を達成する見込みがない
経済性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了 ・行政サービスの質や量の大幅向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの質や量の向上。拡大傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの質や量の現状を維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの質や量が低下。縮小傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスの質や量が大幅低下
正確性 信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業完了 ・ミスの要素を取り除き、事務事業の正確、安全性を大幅向上 ・市HPや広報、地元紙を用い情報を積極発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスの要素を取り除き、事務事業の正確、安全性を向上 ・市HPや広報を用い情報を積極発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の正確、安全性を維持 ・市HP、広報のいずれかを用い情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の正確、安全性にやや問題あり ・情報発信を積極的に行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の正確、安全性に問題あり ・発表できる段階には至っていない事業内容

【評価基準】※前頁の表に基づいて加点し、その値を4（項目数）で除した数値（小数点第2位を四捨五入）を下の表に当てはめて判定します。

評価基準	評価数値	評価
十分な成果を得ることができた（達成・完結）	5.0～4.5	A
ほぼ成果を得ることができた	4.4～3.8	B
現状維持で推移	3.7～3.0	C
減少傾向であり、改善が必要	2.9～2.3	D
事業の見直しが必要（事業の廃止・中止も検討）	2.2以下	E

Ⅶ 令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の結果

評価シートは、事業の目的や事業がめざすもの、事業内容、結果や成果、今後の方向性を短文にまとめるなど工夫しました。

詳細は「別冊「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検・評価の結果【令和6年度事業】」をご覧ください。

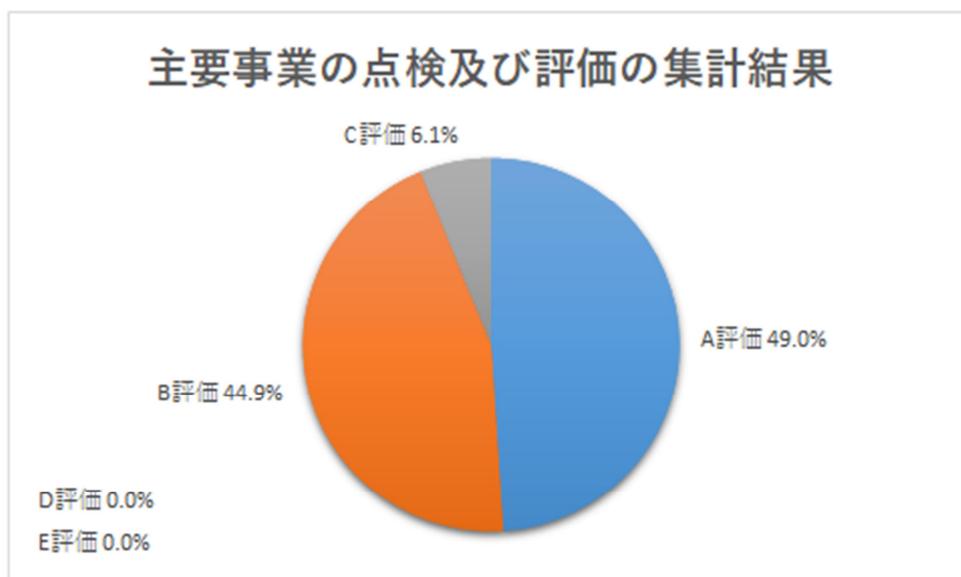
Ⅷ 令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の集計結果

令和6年度の評価対象事業は49事業です。各事業の評価項目を勘案して集計したところ、十分成果を得ることができたと評価した事業（A評価）は49.0%（昨年28.8%）となり、およそ20%の増加となりました。ほぼ成果を得ることができたと評価した事業（B評価）は44.9%（昨年63.5%）となり、十分成果を得ることができたと評価した事業（A評価）とほぼ成果を得ることができたと評価した事業（B評価）を合わせると93.9%となり、数値的には昨年（92.3%）よりやや増加となっておりますが、B評価事業のA評価事業への改善が図られています。

また、現状維持で推移していると評価した事業（C評価）は6.1%となり、昨年（7.7%）よりやや減少しました。改善を要する事業（D評価）及び事業の見直しが必要な事業（E評価）は前回同様になしとなり、全体的に事業効果が上がった結果となりました。

以上の状況を施策との関連で見ると、9割以上の事業でB評価以上となり、目標に対して一定水準以上の成果を上げていると評価できます。

ただし、それぞれのシートに記載した「今後の課題と改善に向けた方向性」において、内容について工夫を要する事業もあることから、次年度以降の事業推進にあたりさらなる精査が必要となります。



施策ごとの評価一覧

施策名	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価	合計
生涯学習の推進	0	9	2	0	0	11
教育の充実	24	6	0	0	0	30
文化財の保護と活用	0	4	1	0	0	5
安全な暮らしの推進	0	2	0	0	0	2
人権尊重の推進	0	1	0	0	0	1
合計	24	22	3	0	0	49

Ⅸ 令和6年度「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の結果に対する事務事業評価委員の意見等

事務事業評価委員 桐生大学短期大学部 アート・デザイン学科
教授 橋爪 博幸

- 「令和6年度『みどり市教育行政方針』により計画及び実施された主要事業の点検及び評価の集計結果」を見ますと、評価はA評価またはB評価となっており、事業が計画どおり進められていることがうかがえます。ただ「施策ごとの評価一覧」を見ますと、「安全な暮らしの推進」が合計「49」ポイント中、「2」ポイントのみと低い数値である点は気になります。児童・生徒の「健康管理」に加え、「危機管理」について小・中学校の方針や対応マニュアル、「危機」の抽出（地震、火災、不審者、獣害など）や点検や訓練などはしっかり行われているでしょうか。「防犯カメラの設置事業」について点検の記録がありますが、教育委員会に、各学校における安全管理について点検記録（避難訓練の実施など）があると保護者の皆様は安心すると思われまます。
- 現在、全国で熊や猪、鹿などの野生動物が市街地へ侵入し住民に危害を及ぼす事例が目立ってきています。みどり市でも、野生動物の目撃情報が寄せられ捕獲が行われていると思われまますが、とくに熊は要注意です。小・中学校内、あるいは近隣で子どもたちの安全確保が図られているでしょうか。この点について報告書への記載をお願いできればと思いまます。子どもたちや市民の皆様の安全確保を目的に、みどり市でも「みどり市鳥獣被害防止計画」が策定されています。教育委員会としても野生動物の「被害防止」に協力できると良いのではないかと考えまます。

事務事業評価委員 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課
社会教育企画調整官(併)課長補佐 林 剛史

- 評価対象事業が令和5年度から令和6年度にかけて52事業から49事業になっており、効率的な点検評価の実施に向けた努力がうかがえます。また、事業評価シートの欄がスリム化され、読みやすくなったという印象です。こうした中、細かい様式の点ですが、各事業個票の右上に記載されている「政策コード」や「重点政策コード」の数字については、みどり市総合計画とみどり市教育行政基本方針の一覧表で対応関係が確認できますので、あえて個票の欄に記載する必要はないのではないのでしょうか。
- 令和6年度の各事業の評価結果を見ると、DとEがなく、Cとなっている事業が3件でした。その中でも「教育の充実」の分野ではA評価が24事業、B評価が6事業であるのに対して、C評価がありませんでした。施策ごとに評価のブレがないか、教育委員会内で一度、部署横断的に評価基準を確認し合っただけであればと存じまます。教育行政に係るPDCAサイクルを機能させるという、本評価の趣旨を振り返る機会となれば幸いです。
- 点検評価の対象事業が精選された結果、「教育の充実」分野の割合が大きくなり(30/49)、分野のバランスが悪くなってしまった印象もあいまます。「教育の充実(学校教育)」の中の

基本事業名ごとに大括り化についても一度検討してみてください。例えば、No. 25～27、No. 30～32、No. 34、No. 35 はいずれも「学校スタッフの配置」の事業です。

例えば、教育環境の整備と充実という趣旨のもと、「学校スタッフの配置(上記8事業)」、「施設設備の充実(No. 37、38)」、「教育費負担軽減(No. 39～41)」といったグループ分けができるのではないのでしょうか。

- 最後に、今年6月の法律改正により、コミュニティ・スクールでは、校長が学校運営協議会の承認を得ることとなっている「学校運営に関する基本的な方針」に、業務量管理・健康確保措置の実施に関する内容が含まれることとなりました(令和8年度から)。これを踏まえ、No. 33の事業内容については、令和8年度以降はこの改正事項も含めた形で、教職員の心身の健康管理を行う事業として更新できないか、ご検討ください。

X むすびに

近年、世界情勢の不安定化や国内における少子高齢化の進行、さらにはデジタル化の加速や多様な価値観の広がりなど、社会課題は一層複雑化・多様化しています。こうした状況の中で、教育の果たす役割はますます重要となっており、時代の変化に柔軟に対応しながら、市民の信頼に応える質の高い教育を実現していくことが求められています。

本市では、「第3次みどり市教育大綱」に基づき、誰一人取り残さず、全ての人の可能性を最大限に引き出す教育の推進に努めてまいりました。今年度も、きめ細やかな支援や多様な学びの機会の充実を図り、誰もが生き生きと活躍できる共生社会の実現を目指して、さまざまな取組を展開しています。

各事業の評価にあたっては、施策や事業の効果が市民の皆様の生活にどのように寄与しているか、満足度の向上につながっているかといった観点から点検を行いました。また、昨年度に引き続き、施策ごとに事業を分かりやすく整理し、報告書の簡素化にも努めました。今後も、事務事業評価委員の皆様からいただく具体的な御助言・御提言を活かし、評価内容の検討を重ね、PDCA サイクルに基づく事業改善を着実に推進し、翌年度以降の施策に反映してまいります。

みどり市教育委員会では、安心して質の高い教育の実現に向けて、総合教育会議等を通じて市長との連携体制を強化し、地域の教育課題や将来像を共有しながら、より一層市民の声を反映した教育行政を推進してまいります。

本報告書にまとめた点検・評価の結果は、今後の教育行政方針の再検討や業務改善に活用し、市民の満足度や事業の達成度向上につなげていきたいと考えております。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

別冊

**「みどり市教育行政方針」により計画及び実施された
主要事業の点検・評価の結果**

【令和6年度 事業】

(49 事業)

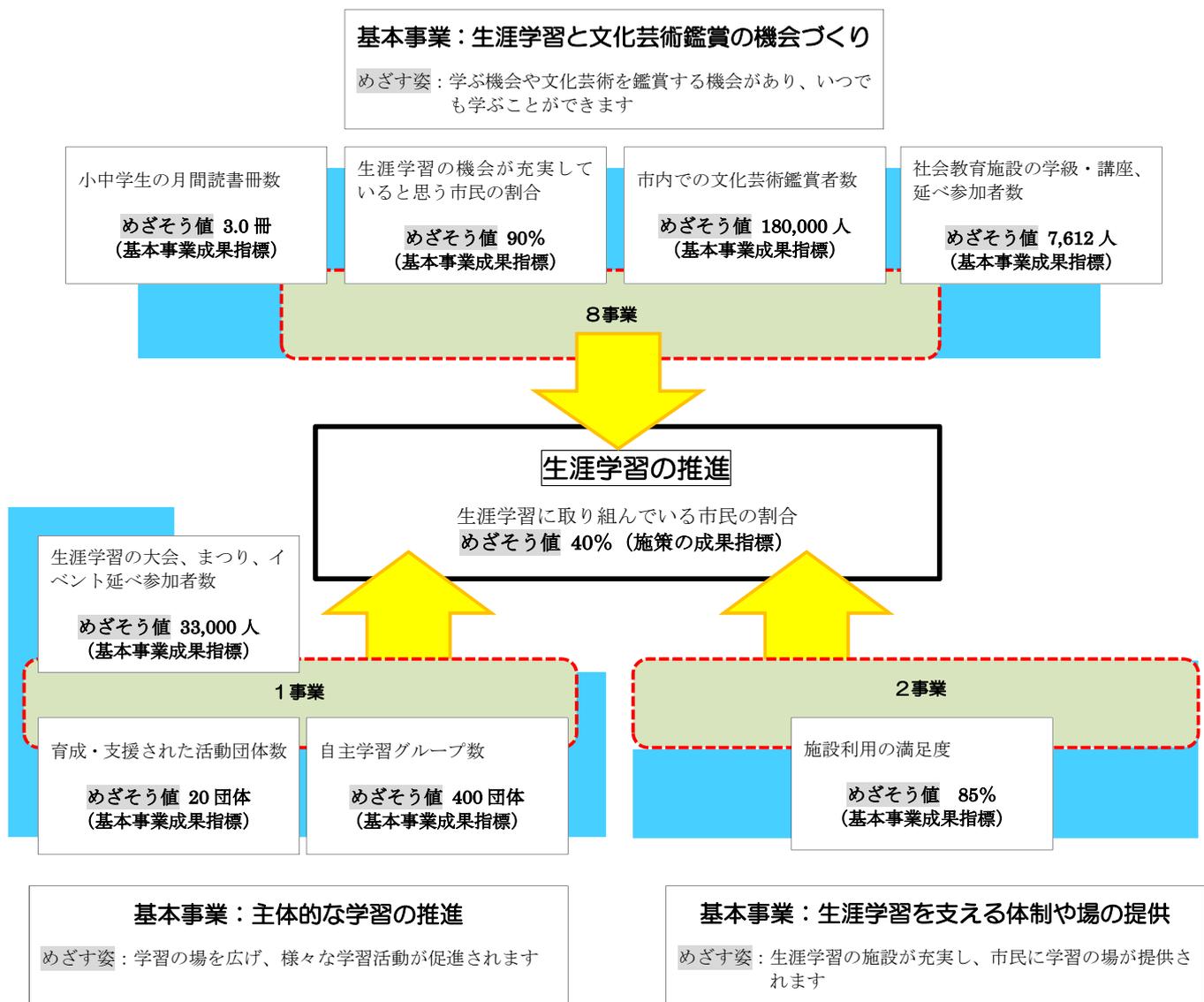
令和7年12月

教育委員会点検・評価対象事業

第2次みどり市総合計画			みどり市教育行政方針				シート No.						
施策名	体系コード	基本事業名	事業名	重点施策コード	事業担当課								
生涯学習の推進	2	1	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり	1	ア	(ア) 社会教育課	1						
						(イ) 社会教育課	2						
						(ウ) 社会教育課	3						
					イ	(ア) 富弘美術館	4						
						(イ) 富弘美術館	5						
						(エ) 社会教育課	6						
						(ケ) 社会教育課	7						
						(サ) 社会教育課	8						
			2	3	主体的な学習の推進	どこでも出前講座事業	(2)	ア	(ウ) 社会教育課	9			
									生涯学習を支える体制や場の提供	3	ア	(ア) 社会教育課	10
												(ウ) 社会教育課	11
教育の充実	2	2	確かな学力の向上	1	イ	(ア) 学校教育課	12						
						(イ) 学校教育課	13						
						(オ) 学校教育課	14						
						(キ) 学校教育課	15						
					ウ	(イ) 学校教育課	16						
						(エ) 学校教育課	17						
					2	2	豊かな心の育成	児童生徒豊かな心と探求心育成事業	(2)	エ	(イ) 学校教育課	18	
			環境教育・宿泊体験奨励事業	学校教育課							19		
			3	3	健やかな体の育成	中体連活動費補助事業	(3)	ア	(イ) 学校教育課	20			
									小体研・音楽コンクール事業	イ	(ア) 学校教育課	21	
											(イ) 学校教育課	22	
			4	4	教職員の資質向上	学級経営充実事業	2	(4)	ア	(ア) 学校教育課	23		
										教職員研修事業	イ	(ア) 学校教育課	24
			5	5	教育環境の整備と充実	2	(5)	イ	ア			(エ) 学校教育課	25
										エ	イ	(ア) 学校教育課	26
												(イ) 学校教育課	27
												(ウ) 学校教育課	28
												(エ) 学校教育課	29
								オ	イ			(オ) 学校教育課	30
										(オ) 学校教育課	31		
										エ	イ	(イ) 学校教育課	32
												(ウ) 学校教育課	33
										オ	イ	(ア) 学校教育課	34
(イ) 学校教育課	35												

教育委員会点検・評価対象事業

第2次みどり市総合計画				みどり市教育行政方針					シート No.			
施策名	体系コード		基本事業名	事業名	重点施策コード		事業担当課					
教育の充実	2	2	5	教育環境の整備と充実	小学校通級指導教室運営事業	2	(5)	カ	(ア)	学校教育課	36	
					防犯カメラ設置事業			キ	(ウ)	学校教育課	37	
					LED照明改修事業				(ク)	教育総務課	38	
					就学援助事業			ク	(イ)	(ウ)	学校教育課	39
					特別支援学級補助事業				(イ)	学校教育課	40	
					特別支援教育就学奨励費事業				(イ)	学校教育課	41	
					文化財の保護と活用			2	3	1 文化財の保護 2 文化財の活用	文化財保存活用事業	3
	(2)	ウ	(ア) (イ)									
埋蔵文化財保存事業	(1)	ア	(イ)	文化財課		43						
	(2)	イ	(ア)									
岩宿博物館事業	ウ	(ア) (イ)	文化財課	44								
	エ	(ア) ～ (オ)										
	(3)	ア				(イ)						
	(2)	エ	(ウ) (エ)	文化財課	45							
大間々博物館事業	(3)	ア	(ア) (イ)									
旧花輪小学校記念館事業	(2)	エ	(カ)	文化財課	46							
安全な暮らしの推進	3	3	4	青少年の健全育成の推進	5	(1)	ア	(ア)	社会教育課	47		
								(イ)	社会教育課	48		
人権尊重の推進	7	2	1	人権教育・啓発の推進	6	(1)	ア	(ア) (イ)	社会教育課	49		



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり	1	生涯学習大会事業	社会教育課	B	B	B
	2	高齢者教室事業	社会教育課	B	B	B
	3	各公民館市民講座事業	社会教育課	C	C	C
	4	「豊かな心」の充実事業	富弘美術館	B	B	B
	5	公募展開催事業	富弘美術館	B	B	B
	6	文化ホール主催事業	社会教育課	C	C	C
	7	公民館文化祭事業	社会教育課	B	B	B
	8	文化芸術活動事業	社会教育課	B	B	B
主体的な学習の推進	9	どこでも出前講座事業	社会教育課	B	B	B
生涯学習を支える体制や場の提供	10	図書館事業	社会教育課	C	B	B
	11	多世代交流館事業	社会教育課	B	B	B

教育委員会事業評価シート

No.1～11

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	生涯学習の推進	体系コード	2	1	1
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	成果指標の現状値	29.00%		

基本事業名	生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり					
基本事業成果指標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	現状値 (2021年度)	88.6%	⇒	めざそう値 (2027年度)	90%
	小中学生の月刊読書冊数		1.5冊			3冊
	市内での文化芸術鑑賞者数		50,716人			180,000人
	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数		1,942人			7,612人

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	1 生涯学習大会事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ア)																					
事業目的と 取組内容	<p>学ぶことの楽しさや生涯学習の重要性を再認識するとともに、市民の主体的な活動をより豊かなものにするを目的として、生涯学習大会を開催する。</p> <p>生涯学習活動の重要性を再認識し、市民の主体的な活動をより豊かにすることを目的とし、生涯学習大会を開催した。あわせて、地域の子どもたちへの様々な活動により文部科学大臣表彰を受賞した市民団体への功績を顕彰する表彰を併催した。</p>																										
実施結果 と成果	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">実績・ 成果</td> <td>区分</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> </tr> <tr> <td>教育委員会表彰者</td> <td>—</td> <td>個人5</td> <td>団体1</td> <td>個人2</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>—</td> <td>214</td> <td>205</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>参加者の満足度</td> <td>—</td> <td>89%</td> <td>88%</td> <td>88%</td> </tr> </table> <p>◎生涯学習大会の実施内容 講師：歌手 大島 花子 氏 演題：うつくしい、命 あたりまえの日常の大切さ、たくさんの悲しみや困難を経験したことについて、歌を交えながら講演していただき、参加者に対し、より深く生涯学習の必要性を学んでもらえた。</p>						実績・ 成果	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	教育委員会表彰者	—	個人5	団体1	個人2	来場者	—	214	205	391	参加者の満足度	—	89%	88%	88%
	実績・ 成果	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																					
教育委員会表彰者		—	個人5	団体1	個人2																						
来場者		—	214	205	391																						
参加者の満足度	—	89%	88%	88%																							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>学ぶことが楽しくなるきっかけとしての企画設定や、多くの市民の方に参加していただけるよう効果的な周知を図れるよう検討していく。</p>		<table border="1"> <tr> <th colspan="6">事業評価（数値化）</th> </tr> <tr> <td>必要性</td> <td>有効性</td> <td>経済性 効率性</td> <td>正確性 信頼度</td> <td>評価 数値</td> <td>評価 結果</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4.3</td> <td>B</td> </tr> </table>				事業評価（数値化）						必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果	5	5	3	4	4.3	B			
事業評価（数値化）																											
必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																						
5	5	3	4	4.3	B																						

教育行政方針 重点施策名	2 高齢者教室事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ウ)	
事業目的と 取組内容	高齢者の社会参加、役割、生きがい対策をねらいとして、笠懸、大間々地域では地元の老人クラブ 連合会役員の協力のもと開催。東地域では学級生の意見を取り入れて内容を決定。いずれも参加者 のニーズに沿った事業内容としている。						
実施結果 と成果	【笠懸公民館】笠老連役員会での事前協議を行い、前年度のアンケートにある要望や役員からの意見 を基に、視察研修を含め7講座を実施。前年度の最終受講者数を229名から、242名に増やすことがで きた。大間々からの受講者も増え、笠懸地域外からも高齢者大学の存在を知ってもらえた。 【大間々公民館】今年度からコロナ以前に近づけるため館外学習を含む全5回の講座とすることで、昨 年度延べ参加者数45人から、今年度は延べ92人の参加となった。 【東公民館】人口減少に伴い参加者の確保が難しい状態は変わらないが、開催内容の見直しや随時 受け入れ等参加しやすい工夫を行い、一定の成果が上がっている。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	【笠懸公民館】席で体を動かしたり、舞台上に動きを取り 入れた内容を取り入れ、講座の理解を深める工夫 をしていく。 【大間々公民館】参加者が興味をもって楽しめる、変 化に富んだ企画を考えたい。 【東公民館】教室の名称や対象者の変更により、参 加者の拡大を図る。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	4	4	4.3	B

教育行政方針 重点施策名	3 各公民館市民講座事業	重点施策 コード	1	(1)	ア	(ウ)	
事業目的と 取組内容	集約的な事業と位置づけ、ただ単に知識の習得に終わることなく、「学習から実践へ」を基本に学習 を進める。 講座の企画・運営等は住民参画による市民講座運営委員会を中心に進め、笠懸公民館では、『健康 へのアプローチ ～知ろう！自分のからだ～』をテーマに全4回の講座を実施した。大間々公民館で は、『人生100年時代を楽しく生きるための健康管理』をテーマとして1回開催した。						
実施結果 と成果	【笠懸公民館】4講中2講を土曜日の昼間に開催したことが、参加者としても都合が合わせやすかったと 意見があった。19時からでは道が暗くて参加できない方も多いため、来年度も同じような曜日と時間帯 を検討していく。 【大間々公民館】昨年度3回開催したが、今年度は実行委員の体調不良があり1回にとどまった。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	【笠懸公民館】高齢者大学にも参加してくださっている 方がほとんどを占めていた。もっと若い層もしくは 家族ぐるみで参加してもらえるような講座を考えて行 く必要がある。 【大間々公民館】企画者・担い手となる実行委員の 高齢化が年々進んでおり、マンパワーの拡充が課題 である。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	3	3	3	3.3	C

教育行政方針 重点施策名	4 「豊かな心」の充実事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(ア)・(ウ)	
事業目的と 取組内容	富弘美術館や富弘作品について理解を深めるため、市内社会教育施設において出前展示を行うほ か、学校等と連携して出前講座を実施し「豊かな心」の育成を図る。						
実施結果 と成果	恒例となった笠懸図書館でのカレンダー一展だけでなく、笠懸図書館主催「群馬の詩人」での展示及び物 販、旧花輪小学校記念館での「星野富弘の学び舎～果(ひの)小学校～」への協力展示などを実施し 、みどり市内での各施設で理解を深めるための場を設けることができた。また、小学校4校及び中 学校1校、義務教育学校1校の合計6校で出前講座を実施し、豊かな心の育成を図ることができた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	令和6年4月に星野富弘氏が逝去し、全国的に報道 で取り上げられたことから、例年に比べ注目が集 まった年となった。今後は改めて星野氏の生涯や詩 画作品について知っていただく場とするための企画 展示等を実施する。また、より多くの小中学校と連携 し、地域を生かした魅力ある授業づくりを通じた授業 実施を検討・協力する。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	4	4	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	5 公募展開催事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(イ)	
事業目的と 取組内容	「詩画」を現代芸術の新たな表現形式として広く一般に普及させることを目的とする。						
実施結果 と成果	 <p>応募数は、一般の部が528点で前年度より209点減少したが、小中学生の部は880点で前年度より15点増加した。 一般の部では、大賞1名、優秀賞2名、奨励賞3名、入選74名が、小中学生の部では、それぞれの部において、大賞1名、優秀賞2名、奨励賞3名が選ばれ、12月14日に表彰式を開催した。表彰された一般の部の作品については展示室4に、みどり市小中学生の作品においては、応募作品全てをレクチャー室で展示した。詩画の普及に貢献した。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	小中学生の部の応募数がわずかながら増加したものの、全体的に減少傾向にある。広報誌の掲載やホームページの活用、SNSによる周知を検討する。小中学生に対しては詩画制作の実技指導を行う出前講座の活用を促し、学校教育課を通して協力いただくよう学校へ依頼する。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	4	4	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	6 文化ホール主催事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(エ)	
事業目的と 取組内容	芸術文化の振興を図り、文化的・芸術的に優れた質の高い催し物の鑑賞機会を提供するため、子ども向けのおよこじゃずwithサーカスや群馬交響楽団コンサートや例年実施しているカルテット・エスプラント+等、来て、観て、出会って、触れ合って、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催した。						
実施結果 と成果	幅広い年齢層増に対して楽しむことができるように「およこじゃずwithサーカス」、「群馬交響楽団コンサート」、「カルテットエスプラント+」等の異なるジャンルの公演、全12事業を実施した。 「およこじゃずwithサーカス」では、ワークショップやホワイエ内の窓ガラスに子どもたちが制作した大型アート作品を装飾する等したコンサートをはじめ、陸上自衛隊第12音楽隊みどり市演奏会やカルテット・エスプラント+、ハラミちゃんファミリーコンサート、よしもとお笑いライブ、桐生交響楽団定期演奏会、コロナ禍で休止していたみどり市合唱祭等を実施することができた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	公演については、SNS(LINEやInstagram,X等)による広告宣伝等も活用するとともに、近くの飲食店に協力していただいたコネクトショップを広めて広報を強化していく。 施設の老朽化により建物や機械設備、舞台機器など計画的に更新する必要がある。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		3	4	4	3	3.5	C

教育行政方針 重点施策名	7 公民館文化祭事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(ケ)	
事業目的と 取組内容	公民館や各地域で学習・文化活動を行っている個人や団体の活動成果等を発表し合い、相互の交流を図るとともに新たな仲間作りや学習活動のきっかけ作りを目的とする。参加者を中心とする実行委員会を組織し、企画・運営を行い、手づくりの文化祭を実施した。						
実施結果 と成果	【笠懸公民館】全体的に、前年度の団体数を上回る参加を得ることができた。ステージ部を拡大したことや、イベント企画に関し多くの取り組みができ、来場者数も前年度を500人上回るすることができた。 【大間々公民館】展示部門、芸能部門とも出展者・団体は、ほぼ同水準だった。来場者プレゼントなど初めての試みも行った。 【東公民館】展示部門、芸能部門ともに減少。ちえのみ保育園やあずま小中学校の展示参加、芸能発表会の曜日変更、東町赤十字奉仕団等の協力により、来場者の減少幅を抑えられた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	【笠懸公民館】ニーズを把握しつつサークル等へ支援を強化し、参加者数の増加につなげる必要がある。 【大間々公民館】担い手である文化協会の会員・団体数が減少傾向にあり、対策が必要。展示部門会場の厚生会館の利用が今後困難となるため会場の見直しが必要である。 【東公民館】参加者の減少が著しく地域に参加を呼び掛けているが、改善が困難。新たな参加者を創出する必要がある。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	4	4	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	8 文化芸術活動事業	重点施策 コード	1	(1)	イ	(サ)																																																						
事業目的と 取組内容	<p>特色ある地域文化の創造・発展及び多様な文化芸術の振興を図ることを目的として、学習機会や発表の場、情報資料の提供、芸術に関する講座等を開催する。</p> <p>令和6年度は、スポーツ分野1種、文化芸術分野4種の計5種の事業を実施でき、児童生徒に対して質の高いスポーツ・文化芸術の鑑賞・体験の機会を提供し、子どもたちに未来づくりのきっかけを創出することができた。</p>																																																											
実施結果 と成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実績・ 成果</th> <th colspan="2">事業名</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>卓球教室</td> <td>参加者数</td> <td>—</td> <td>40人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バスケットボールクリニック</td> <td>参加者数</td> <td>115人</td> <td>102人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子どものためのコンサート</td> <td>参加者数</td> <td>273人</td> <td>146人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>移動音楽教室「MUSICA」</td> <td>参加者数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>575人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大阪桐蔭高等学校吹奏楽演奏会</td> <td>参加者数</td> <td>—</td> <td>1,165人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>荒木千恵子先生のバステル画教室</td> <td>参加者数</td> <td>—</td> <td>34人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>創世落語伝承事業</td> <td>参加者数</td> <td>387人</td> <td>462人</td> <td>264人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>群馬交響楽団「楽器セミナー」</td> <td>参加者数</td> <td>78人</td> <td>63人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table> <p>MIDORIジュニアアカデミー事業では、スポーツ分野でバスケットボールクリニックを開催し、プロの技の披露をはじめ、練習や試合での気持ちの持ち方等、技術だけでなくマインドの部分においても大変参考となる貴重な体験となった。</p> <p>また、音楽分野で開催した移動音楽教室では、子どもたちにとって圧巻なパフォーマンスを目の当たりにすることができ、生の音楽に触れあう貴重な機会となった。</p>						実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度		卓球教室	参加者数	—	40人	—		バスケットボールクリニック	参加者数	115人	102人	89人		子どものためのコンサート	参加者数	273人	146人	—		移動音楽教室「MUSICA」	参加者数	—	—	575人		大阪桐蔭高等学校吹奏楽演奏会	参加者数	—	1,165人	—		荒木千恵子先生のバステル画教室	参加者数	—	34人	75人		創世落語伝承事業	参加者数	387人	462人	264人		群馬交響楽団「楽器セミナー」	参加者数	78人	63人	67人
実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度																																																							
		卓球教室	参加者数	—	40人	—																																																						
	バスケットボールクリニック	参加者数	115人	102人	89人																																																							
	子どものためのコンサート	参加者数	273人	146人	—																																																							
	移動音楽教室「MUSICA」	参加者数	—	—	575人																																																							
	大阪桐蔭高等学校吹奏楽演奏会	参加者数	—	1,165人	—																																																							
	荒木千恵子先生のバステル画教室	参加者数	—	34人	75人																																																							
	創世落語伝承事業	参加者数	387人	462人	264人																																																							
	群馬交響楽団「楽器セミナー」	参加者数	78人	63人	67人																																																							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	子どもたちに質の高いスポーツ・文化・芸術の体験や鑑賞する機会を創出するうえで、保護者及び子どものニーズを捉える必要がある。また、予算やスケジュールを十分吟味したうえでの開催方法の工夫が必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">事業評価（数値化）</th> </tr> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>経済性 効率性</th> <th>正確性 信頼度</th> <th>評価 数値</th> <th>評価 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3.8</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>				事業評価（数値化）						必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果	4	4	3	4	3.8	B																																				
事業評価（数値化）																																																												
必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																																																							
4	4	3	4	3.8	B																																																							

◎総合計画における施策と成果指標

総合計画施策名	生涯学習の推進	担当課	社会教育課
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	体系コード	2 : 1 : 2
		成果指標の現状値	29.00%

基本事業名	主体的な学習の推進					
基本事業成果指標	新規活動団体数	現状値 (2021年 度)	21団体	めざそう 値 (2027年 度)	⇒	53団体
	自主学習グループ数		237団体			283団体
	生涯学習の大会、まつり、イベント延べ参加者数		3,533人			10,000人

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	9 どこでも出前講座事業	重点施策 コード	1	(2)	ア	(ウ)																		
事業目的と 取組内容	<p>くらしや健康・福祉、教育・文化等の身近な題材の学習会等に市職員等を講師として派遣し、説明等を行うことにより、市民と職員が意見を交換する機会を設けるとともに、市政についての情報や学習機会を提供し、市民の主体的な学習活動に役立ててもらおう。</p> <p>団体やグループ等からの希望に応じて、学習活動の場に市職員が出向き、みどり市の行政や福祉、まちづくり、産業、教育、文化等の身近な内容についての講座を行った。出前講座のメニューは68講座用意した。</p>																							
実施結果 と成果	<p>今年度は、学校の授業の一環として「星野富弘さんの作品と富弘美術館」の申込みが最も多く、次いで、自然災害の激甚・頻発化の影響から「防災講座」、気軽に楽しめるスポーツとしての「ポッチャ体験」の申込みが多かった。</p>																							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	多くの市民に関心を寄せてもらえるように多種多様な講座を用意しているが、一部の講座に受講が偏る傾向にあるので、講座メニューのリニューアルや周知方法の検討などが必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">事業評価（数値化）</th> </tr> <tr> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>経済性 効率性</th> <th>正確性 信頼度</th> <th>評価 数値</th> <th>評価 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4.3</td> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>				事業評価（数値化）						必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果	4	4	4	5	4.3	B
事業評価（数値化）																								
必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																			
4	4	4	5	4.3	B																			

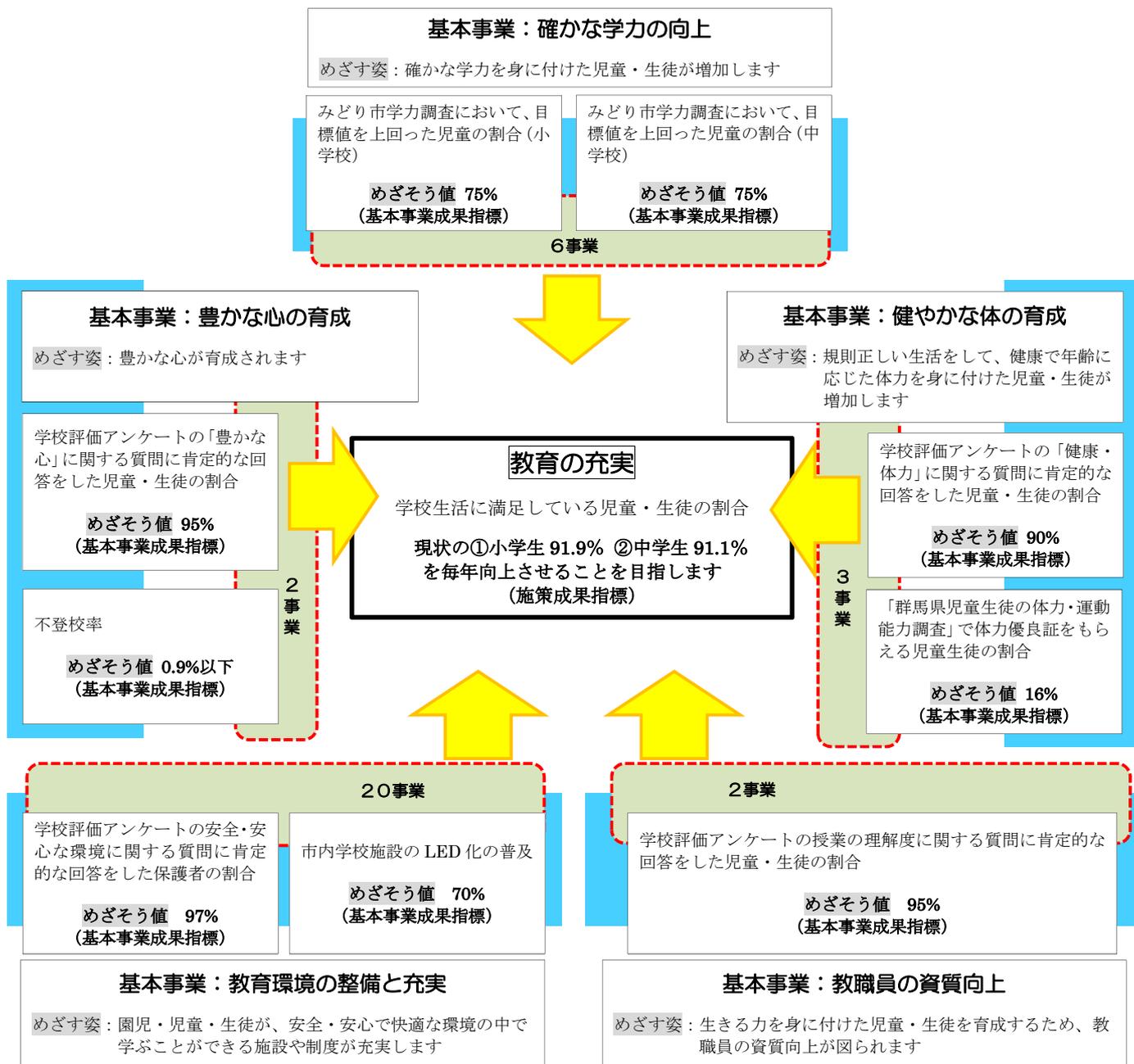
◎総合計画における施策と成果指標		担当課	社会教育課
総合計画施策名	生涯学習の推進	体系コード	2 : 1 : 3
施策の成果指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合	成果指標の現状値	29.00%

基本事業名	生涯学習を支える体制や場の提供					
基本事業成果指標	施設利用の満足度	現状値 (2021年)	81.0%	⇒	めざそう 値	85.0%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	10 図書館事業	重点施策 コード	1	(3)	ア	(ア) (ウ) (エ)			
事業目的と 取組内容	身近な情報の拠点として、その基盤となる図書館資料とサービスの充実を図る。 「こどもの読書活動推進計画(第2期)」に基づき子どもの読書活動の推進と環境の整備に努める。								
実施結果 と成果	○所蔵状況(令和7年3月31日現在)					○小中学生の月間読書冊数			
		一般書	児童書	視聴覚資料	合計	住民一人あたり			
	笠懸図書館	122,545	43,019	11,527	177,091	3.6			
	大間々図書館	125,286	35,827	16,409	177,522	3.6			
	東公民館図書室	5,443	3,088	16	8,547	0.2			
	合計	253,274	81,934	27,952	363,160	7.5			
						R5	R6		
						冊数	1.6	1.6	
	○利用状況		○電子書籍数						
		R5年度	R6年度		R5年度	R6年度			
	来館者数	164,838	173,684	一般書	2,990	2,798			
	貸出人数	67,530	65,255	児童書	1,105	1,287			
	利用点数	232,368	238,939	読み放題パック	0	167			
				合計	4,095	4,252			
	○電子図書館利用状況		※読み放題パックとは、1冊の本に複数人が、同時にアクセスできる資料。令和6年9月から活用を始めた。資料貸出ではなく、閲覧方式で利用する。						
		R5年度	R6年度						
	ログイン数	4,279	11,075						
	閲覧数	7,265	18,465						
	貸出数	4,302	7,495						
	※小中学生が電子図書館を活用できるよう、GIGAスクールタブレットにショートカットを一斉配信・全自動生徒及び全教職員にID・パスワードを配布・読み放題パックの導入等により、電子図書館の利用が増加した。								
課題と今後の 改善に向けた 方向性	来館者等増加傾向にあるが、利用状況は前年を下回っており増加していないことが課題である。イベント等継続事業の充実を図り、SNS(市のLINEやホームページ)を活用し、図書館サービスを十分に周知することで利用につなげる。 電子図書館は、利用するためのID・パスワードを市内小中学生及び教職員全員に配布したことにより利用が増加した。併せて一般の利用者の利用が増加している。このためホームページの見せ方を工夫する等して、さらに周知を図る。					事業評価(数値化)			
	必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果			
	5	3	4	4	4.0	B			

教育行政方針 重点施策名	11 多世代交流館事業	重点施策 コード	1	(3)	イ	(ア)	
事業目的と 取組内容	みどり市「多世代交流館」基本構想に基づく整備のため、個別施設管理計画に基づく体育館の整備を行った。 また、市民の生涯学習と交流の拠点づくりに取り組んだ。						
実施結果 と成果	ハード面での大きな整備はありませんでしたが、ソフト面としてSNSの活用や利用啓発のためワークショップの集積イベントを行った。イベントでは降雪があつたにもかかわらず、延べ573人が体験参加した。 施設利用者比較 施設全体 R5:27,844人→R6:29,671人						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	定期的なメンテナンスおよび施設老朽化への対処の必要がある。 また、利用増に伴う駐車場不足や年々進む気象の高温化への対応(体育館・多目的広場)等、利便性への向上の研究を継続する。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	3	4	4.0	B



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
確かな学力の向上	12	学力向上対策事業	学校教育課	A	A	A
	13	学校情報整備管理運営事業	学校教育課	A	A	A
	14	中学生英語体験学習事業 (MIDORI English Camp)	学校教育課	B	B	A
	15	東地域小中一貫教育推進事業	学校教育課	B	B	B
	16	キャリアアドリーム事業	学校教育課	B	B	A
	17	MIDORIプログラミング教室事業	学校教育課	A	A	A
豊かな心の育成	18	児童生徒豊かな心と探究心育成事業	学校教育課	B	B	A
	19	環境教育・宿泊体験奨励事業	学校教育課	B	B	A

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
健やかな体の育成	20	中体連活動費補助事業	学校教育課	A	A	A
	21	小体研・音楽コンクール事業	学校教育課	B	B	A
	22	健康管理事業	学校教育課	B	B	A
教職員の資質向上	23	学級経営充実事業	学校教育課	B	B	B
	24	教職員研修事業	学校教育課	A	A	A
教育環境の整備と充実	25	スクールソーシャルワーカー配置事業	学校教育課	B	B	B
	26	生徒指導特別サポート員配置事業	学校教育課	B	B	A
	27	学校カウンセラー活用事業	学校教育課	B	B	B
	28	教育支援センター運営事業	学校教育課	B	B	A
	29	いじめ防止対策推進事業	学校教育課	B	B	B
	30	学力向上対策支援員事業	学校教育課	B	B	A
	31	きめ細かな指導充実支援員配置事業	学校教育課	B	B	A
	32	部活動指導員配置事業	学校教育課	B	B	A
	33	教職員健康管理事業	学校教育課	A	A	A
	34	語学指導者設置事業	学校教育課	B	A	A
	35	教育支援員配置事業	学校教育課	A	A	A
	36	小学校通級指導教室運営事業	学校教育課	A	A	A
	37	防犯カメラ設置事業	学校教育課	B	A	A
	38	LED照明改修事業(令和6年度開始)	教育総務課	-	-	B
	39	就学援助事業	学校教育課	B	A	A
	40	特別支援学級補助事業	学校教育課	C	A	A
	41	特別支援教育就学奨励費事業	学校教育課	B	A	A
	—	幼稚園保育充実事業	学校教育課	B	B	—
	—	幼稚園子育て支援事業	学校教育課	B	B	—
	—	施設等利用給付費事業(幼稚園)	学校教育課	B	A	—
—	私立幼稚園副食費助成事業	学校教育課	B	A	—	

◎総合計画における施策と成果指標

		担当課	学校教育課		
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2	2	1
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	成果指標の現状値	(小学校)91.9% (中学校)91.1%		

基本事業名	確かな学力の向上					
基本事業成果指標	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(小学校)	現状値 (2021年度)	69.5%	⇒	めざそう値 (2027年度)	75%
	みどり市学力調査において、目標値を上回った生徒の割合(中学校)	66.3%			75%	

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	12 学力向上対策事業	重点施策 コード	2	(1)	イ	(ア)	
事業目的と 取組内容	・学力調査及び知能検査を実施し、結果を分析して学力向上を目指す。 ・小学及び義務教育1～6年の児童に国・算の2教科、中学1・2年及び義務教育7・8年の生徒に国・社・数・理・英の5教科の学力調査を、小学及び義務教育3・5年の児童、中学1年及び義務教育7年の生徒に知能検査を実施した。						
実施結果 と成果	・学力調査の結果から児童生徒の学力の状況を分析し、学力向上策を検討・改善した。児童生徒が自分の学力の状況や努力点をGIGA端末を用いて把握できるよう、ICT分析を実施した。児童生徒の学習への意欲を更に高めるとともに、家庭学習の充実につながるよう、結果を家庭にも知らせ協力を仰いだ。 ・小学校及び義務教育学校前期課程では、全国と比較して同程度、若しくはやや低い正答率である。2年、6年については前年度と比較して改善が見られ、全国との差は小さくなっている。中学校1年及び義務教育学校7年では全ての教科で全国平均を下回る正答率、中学校2年及び義務教育学校8年は国語を除いた教科で全国を下回った。全ての学校において、学校ごとに結果を分析し、学力向上対策に取り組んだ成果が表れた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	授業改善と学力向上に向けて、次の3点に重点を置き学校への指導支援を充実する。 ①「教師が～させる」授業から「児童生徒が～する」授業への転換 ②伸ばしたい資質・能力を明確にした授業実践 ③ICT活用の特性・強みを最大限に生かした授業改善	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	13 学校情報整備管理運営事業	重点施策 コード	2	(1)	イ	(イ)	
事業目的と 取組内容	教職員の情報機器(PC機器等)整備、インターネット接続契約や保守契約を行うことで、校務の情報化及び情報教育の充実を図る。 ICT支援業務を委託することで、ICTを活用した授業を充実させる。						
実施結果 と成果	・PC機器の保守契約、インターネット接続契約を継続して行ったことで、教職員のICT機器を使用できる環境を維持した。 ・ICT支援員業務を委託し、1校あたり月2回程度、ICTの操作や知識に長ける人材を学校に配置した。 ・令和7年度の教職員用パソコン機器入替の準備を進めた。 学校内のICT環境を維持するとともに、ICTを活用した授業が充実した。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	令和7年度に教職員用パソコン機器の入替を行う。 ICT支援業務は、現在の学校にとって必要不可欠であるため、継続する。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	14 中学生英語体験学習事業(MIDORI English Challenge)	重点施策 コード	2	(1)	イ	(オ)	
事業目的と 取組内容	<p>・ALTとの交流活動やオンライン英会話を通して、生徒の英語力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、異文化・多文化に触れることによりグローバルな視点を育成する。みどり市内の施設を活用したアクティビティや英語による「みどり市よいとこプレゼン活動」を通して、みどり市のよさを体験的に理解できるようにする。</p> <p>・中学生及び義務教育後期課程の生徒を対象に、みどり市内の施設を活用し、3日間の英語体験活動を実施する。</p>						
実施結果 と成果	<p>・中学生及び義務教育後期課程の生徒を対象とした、3日間の英語体験学習を実施し、50名の生徒が参加した。</p> <p>・市内ALTを活用したオールイングリッシュのコミュニケーション活動、食の異文化体験、市内の施設(草木湖・富弘美術館・ボルダリング)を活用した体験学習、みどり市のスポーツボッチャ等のプログラムの体験活動を通して、97.7%の生徒が「また参加したい」と回答し、95.6%の生徒が各々の目標を達成していた。</p> <p>【参加生徒】 笠懸中19名 笠懸南中4名 大間々中10名 大間々東中11名 あずま小中6名</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>・社会情勢や災害等により、海外派遣が中止になっている経緯があります。そこで、令和5年度から、こうした影響を受けず、より多くの生徒が参加でき、みどり市のメリットを生かした事業へと方向転換をしていきます。</p>	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	15 東地域小中一貫教育推進事業	重点施策 コード	2	(1)	イ	(キ)	
事業目的と 取組内容	<p>・あずま小中学校に英語科の参考図書や教材を整備し、先進校としての取組を次年度以降に市内各学校へ還元する。</p>						
実施結果 と成果	<p>・1年生からの英語科で使える参考図書や教材を教材を活用することによって、授業を工夫することができ、一人一人への指導支援がしやすくなった。一人一台端末、デジタル教科書と並行して活用することで、児童生徒が学習内容を深く理解することにつながった。</p> <p>・1年生から英語科の授業を行っているのはあずま小中学校のみであるため、教材や図書を整備し、活用のスキルや成果を市内に広く周知することで、各学校の授業改善につなげることができた。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>・電子黒板とデジタル教科書を併用した授業づくりの研究を進める。</p> <p>・参考図書や教材を、対話・交流活動の場面において有効活用していく。</p>	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	4	3	4	3.8	B

教育行政方針 重点施策名	16 キャリアドリーム事業	重点施策 コード	2	(1)	ウ	(イ)	
事業目的と 取組内容	<p>・中学校及び義務教育学校後期課程における職場体験活動を支援することを通して、望ましい勤労観、職業観を育むとともに、コミュニケーション能力や社会的スキルを身に付けた生徒を育成する。</p> <p>・受入機関への謝礼、体験活動保険、通信費等を補助する。</p>						
実施結果 と成果	<p>・事業所への体験のほか、講師を招いてのキャリア講演会や笠懸商工フェスタへの参加など、キャリア体験活動等を実施した。</p> <p>笠懸中学校(3日間実施)、笠懸南中学校(3日間実施)、大間々中学校(2日間実施) 大間々東中学校(2日間実施)、あずま小中学校(3日間実施)</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>・群馬県でもキャリア教育は重要施策と位置付けられていることから、今後も充実を図っていく必要がある。</p> <p>・生徒がエージェンシーを発揮した指導計画や活動内容を工夫し、コロナ以前と同等の体験活動ができるよう、みどり市内の事業所との連携を強化していく。</p>	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	学校教育課
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2 : 2 : 2
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	成果指標の現状値	(小学校)91.9% (中学校)91.1%

基本事業名	豊かな心の育成					
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「豊かな心」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	現状値 (2021年度)	91.8%	⇒	めざそう 値 (2027年度)	95%
	不登校率		2.7%			0.9%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	17 MIDORIプログラミング教室事業	重点施策 コード	2	(1)	ウ	(エ)	
事業目的と 取組内容	プログラミング的思考(論理的思考力)や情報活用能力、問題解決能力を伸ばすとともに、テクノロジーの仕組みの理解を深める。また、ITを活用する力を育み、IT社会に積極的に関わる態度を育成する。令和6年度は、市内の小学校高学年及び中学生を対象に、プログラミング言語を使ったプログラミング体験を行った。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社グッドアイと連携し、中学生向けとして「スマートデバイスを作ってみよう」、小学生向けとして中学生向けの簡易版を実施した。小学生28名、中学生が20名参加した。 支援の必要な児童生徒もいたが、参加者の多くは自分なりにプログラムを工夫し、自由にアイデアを具現化するなど、プログラムを理解し、活用することができていた。昨年度から続けて参加している生徒もおり、プログラミングを楽しんでいた。 昨年度、小学生とその保護者からは「時間を延長してほしい」「他のプログラミングもやってみたい」との声があったので、時間を延長し、内容もより中学生に近づけた。内容のレベルは上がったが、最後まで意欲的に楽しく取り組む姿があった。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	中学生の参加を増やすべく、1校のみであるが、中学2年生を対象にプログラミングの授業を実施した。しかし、イベントへの参加者は増えなかった。事前の周知活動を事業者と連携して行うことで、参加者を増やしていきたい。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

教育行政方針 重点施策名	18 児童生徒豊かな心と探求心育成事業	重点施策 コード	2	(2)	ア エ	(イ)	
事業目的と 取組内容	市内の文化芸術施設である富弘美術館と岩宿博物館施設を活用する学校の事業をバスの借上げを行うことで支援する。令和6年度は、学校が実施する富弘美術館及び岩宿博物館における校外学習時のバスの借上げを行った。また、令和6年度は3年に1度実施している演劇教室も実施し、たくましい心や思いやりの心を育成する機会とした。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 富弘美術館や岩宿博物館と連携した授業や体験活動 ○バスの手配 大北小バス:5校、貸切バス(財政課手配):10校 借上げバス(個別契約):2校 あずま小中学校はスクールバス使用 ○実際に見学して体験活動を行った学校は富弘美術館11校、岩宿博物館8校 出張授業等による体験を行った学校は富弘美術館5校、岩宿博物館7校 参加した児童生徒の豊かな心の育成と郷土を大切にすることを育むことができた。 富弘美術館と岩宿博物館を活用した学校が前年度に比べ増えており、コロナ禍前の水準に戻ってきた。 演劇教室「泥かぶら」を実施し、たくましさや思いやりについて深く考えるきっかけとなった。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	事業全体でみると、公演委託料が発生する演劇教室を「移動音楽教室事業」を実施しない年度に行うことで効率的だといえる(今回はH30年度に開催。次回はR9年度の予定)。また、市有施設を活用するため児童・生徒移送費以外のコストは発生せず効率的であり、今後も継続して、学校が積極的に実施できるようはたらきかけていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

教育行政方針 重点施策名	19 環境教育・宿泊体験奨励事業	重点施策 コード	2	(2)	エ	(イ)	
事業目的と 取組内容	学校が行う「緑のカーテン」や「宿泊体験」を奨励することで環境教育と体験活動の充実を図る。仲間とともに直接的な体験を通して自然と触れ合う活動や、植物を育てる活動は、豊かな心の育成や各校が取り組んでいる環境教育の推進に効果的である。「緑のカーテン」を実施する際に必要になる苗や肥料等の購入と、学校が実施する宿泊体験に補助金を交付した。						
実施結果 と成果	<p>◎環境教育用消耗品費 各校7,000円の予算内で苗、土、肥料等を購入し、緑のカーテンをはじめ、植物等を増やし、例年と同様に、学校の緑化・環境対策を進めるとともに児童が自然に触れる機会を増やすことができた。</p> <p>◎宿泊体験活動奨励 市内小学校及び義務教育学校全校で宿泊体験活動が実施され、活動に係る経費を補助した。主に5年生が東毛青少年自然の家や桐生市青少年野外活動センターに宿泊し、登山、カヌー体験、キャンプファイヤー等の自然体験を行った。児童は、自然に触れる体験の中で、自然のすばらしさを体感し、協力、尊重、工夫することの大切さに改めて気づき、「豊かな心」の育成につながった。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	宿泊体験は、家庭や学校を離れた自然の中で様々な体験をすることで、自然に感動する心、協力の大切さ、尊重する心などたくさんのお話を学ぶことができ、豊かな心の育成のために有効であり、継続していく必要がある。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	学校教育課
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2 : 2 : 3
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	成果指標の現状 値	(小学校)91.9% (中学校)91.1%

基本事業名	健やかな体の育成					
基本事業成果指標	学校評価アンケートの「健康・体力」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合 「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒の割合	現状値 (2021年 度)	85.6%	⇒	めざそう 値 (2027年 度)	90%
			10.6%			16%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	20 中体連活動費補助事業	重点施策 コード	2	(3)	ア	(イ)	
事業目的と 取組内容	体育及びスポーツ活動振興、生徒の体力向上のため、みどり市立中学校及び義務教育学校後期課程の体育連盟の諸活動を支援する。 補助金を中学校に支出することで、大会参加や、大会へ参加するための部活動の支援を行った。						
実施結果 と成果	<p>・中体連活動費補助金要綱に基づき市内中学校(義務教育学校後期課程)5校へ合計699,560円(笠懸中学校:176,000円、笠懸南中学校:176,000円、大間々中学校:160,000円、大間々東中学校:160,000円、あずま小中学校:27,560円)の補助金を交付した。</p> <p>・交付した補助金は主に、大会参加負担金、プログラム・ユニフォーム代、消耗品費に活用され、生徒や保護者の経済的負担を軽減することができ、積極的な活動参加への一助となった。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	事業の目的を達成したといえる。 保護者の経済的負担の軽減や生徒の体力向上のためにも本事業は必要である。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	21 小体研・音楽コンクール事業	重点施策 コード	2	(3)	ア	(1)	
事業目的と 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・賞状及び記録証や県大会出場者Tシャツの作成、児童移送に係るバスの手配等を行う。 ・小学生水泳記録会、小学生陸上記録会を実施、マーチングフェスティバルに参加した。 						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生水泳記録会、小学生陸上記録会を実施した。成績上位者に賞状、入賞者に記録証、県大会出場者にTシャツを授与した。 ・マーチングフェスティバルに参加した。 ・例年通りの人数で記録会を実施することができた。群馬県の記録会にも出場することができ、児童の運動に対する意欲の向上と、体力の現状を知るための機会を得ることができた。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・R7から県の水泳記録会が廃止となることから、みどり市の水泳記録会も廃止とする。 ・陸上記録会の実施方法を工夫し、より児童の体力向上につながるようにする。また、これまでと同様の方法により支援を行う。 	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	22 健康管理事業	重点施策 コード	2	(3)	イ	(ア) (イ)	
事業目的と 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の健康管理を行う。 児童・生徒の健康管理のために、健康診断、各種検査（結核検査・尿検査・心電図検査・心臓検査・歯科検診）を行った。 						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種感染症の対策を講じながら、予定されていた健康診断や各種検査を、全て実施することができた。 学校保健安全法等で示されている健康診断や各種検査を全て実施し、結果を児童・生徒の家庭に知らせ、受診等を促すことができた。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、児童・生徒の健康管理には欠かせない事業のため、今後、各種感染症拡大があったとしても、感染対策を十分に行いながら実施していく必要がある。 	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	4	4.5	A

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	学校教育課
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2 : 2 : 4
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	成果指標の現状値	(小学校)91.9% (中学校)91.1%

基本事業名	教職員の資質向上					
基本事業成果指標	学校評価アンケートの授業の理解度に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合	現状値 (2021年度)	91.5%	⇒	めざそう 値 (2027年度)	95%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	23 学級経営充実事業	重点施策 コード	2	(4)	ア	(ア)	
事業目的と 取組内容	学級の状況を的確に把握し、一人一人を大切に学級づくりを目指す。令和6年度は、児童・生徒の学校生活の意欲や学級満足度を分析する調査(Q-U)等を行い、K-13法を用いたアセスメントにより、すべての児童・生徒が学級を「心の居場所」とし、安心して学校生活が送れるよう支援を行った。						
実施結果 と成果	<p>・各学校でQ-U結果をもとにしたK-13法を用いたアセスメントを行い、複数の教員で学級経営の充実に向けた改善策や取組を話し合った。アセスメントの結果を受けて学校教育課に改善策や今後の取組を提出した学級は100%であり、Q-Uを有効に活用していた。</p> <p>①学校生活満足群：小学校60.5%、中学校62.3%(全国平均小学校42.5%、中学校41%) 学校生活不満足群：小学校13.8%、中学校17.0%(全国平均小学校22.5%、中学校28.0%)</p> <p>②問題行動報告件数(加害的事案)R4は23件、R5は29件、R6は40件であった。R6についても、昨年同様その他(加害)が増加したが、その内容は自傷行為が多かった。</p> <p>③いじめ認知件数：R4は89件、R5は265件、R6は239件であった。いじめの認知件数が多いことは教職員の目が行き届いていることでもある。今後も早期発見・早期対応に努めていく。 R6のいじめについては、178件が解消、61件は新年度も様子の観察を継続した。</p> <p>④年間30日以上の不登校報告数：R3は101人、R4は119人、R5は124人、R6は111人であった。 R6の不登校増加の原因としては、複雑な要因が絡み合っているケースが多いが、生活リズムの不調や学校生活への意欲低下が多く見られる。</p> <p>・みどり市全体では、学級生活満足群の割合が小・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。結果を学校全体で分析し、個々の児童・生徒の理解や学級経営に生かしていることが成果と考えられる。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	一人一人の児童・生徒の実態を把握し適切かつ効果的な指導をしていく必要がある。 また、不登校については増加傾向が続いている。SCやSSW、生徒指導特別サポート員や不登校対策支援員、教育支援センターと連携した組織的・計画的な支援を行う必要がある。また、フリースクールやつなサポ等外部機関とも連携を図っていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	4	3	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	24 教職員研修事業	重点施策 コード	2	(4)	イ	(ア)	
事業目的と 取組内容	「生きる力」を身に付けた児童生徒を育成するため、教職員の指導力と資質の向上を図る。 各種研修講座や研究班の活動を通して、各種の教育課題に関する必要な専門知識や技能の習得を促進し、教職員の資質の向上を図った。						
実施結果 と成果	<p>・班別研究…「学力向上班」「特別支援教育推進班」「ICT活用班」の3班編制で、年間15回の研修を実施</p> <p>・教育相談研修…教育相談技術認定講座を開講。初級は開講なし。中級は2名が申請。</p> <p>・学校経営研修講座…5講座を開催し、のべ216名が受講</p> <p>・夏期研修講座…R6は群馬県が目指す教育の方向性についての講演会を実施し、約270名が参加</p> <p>・その他…心理検査講習会、ふたばプラン研修、大樹プラン研修の実施</p> <p>・いずれの研修も市の教育課題をもとにした内容で実施され、学校経営や児童生徒の学力向上・健全育成等に生かされたほか、教職員の深い学びと資質向上につなげることができた。</p>						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	昨今の教育現場は、めまぐるしい変化の中にある。国や県の動向をしっかりと見据え、みどり市の教職員にとって真に必要なで効果的な研修となるよう、内容の改善を図っていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	学校教育課
総合計画施策名	教育の充実	体系コード	2 : 2 : 5
施策の成果指標	学校生活に満足している児童の割合(小学校) 学校生活に満足している生徒の割合(中学校)	成果指標の現状値	(小学校)91.9% (中学校)91.1%

基本事業名	教育環境の整備と充実					
基本事業成果指標	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合	現状値 (2021年度)	95.1%	⇒	めざそう 値 (2027年度)	97%
	市内学校施設のLED化の普及		0.0%			70%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	25 スクールソーシャルワーカー配置事業	重点施策 コード	2	(5)	ア	(エ)	
事業目的と 取組内容	児童・生徒を取り巻く環境に注目し、学校内の相談室だけでなく、家庭や他の機関の職員と合同で相談するなど、生活環境を改善する方法をコーディネートする。 問題を抱える家庭の状況を的確に把握し、アセスメント(評価・見立て)やプランニング(手立て)、コンサルテーション(福祉の観点からの助言)等の支援を行った。						
実施結果 と成果	・スクールソーシャルワーカーを市内1校(笠懸中学校)に配置し、必要に応じて市内の他校に派遣した。県費巡回型SSWの勤務と併せて、学校のニーズに合わせて柔軟に対応することができた。 ・多くの児童・生徒、保護者にかかわり、問題解決に向けて取り組んだ。 ・教職員に対する助言・支援も行い、このことにより教師の視野が広がり、支援のスキルも大きく向上している。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	問題を抱える家庭の支援について、こども課等関係機関と連携しながら対応にあたっており、大きな成果を挙げている。 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置し、市内小学校のケースも含めて支援体制の充実を図っていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	4	4	4.3	B

教育行政方針 重点施策名	26 生徒指導特別サポート員配置事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(ア)	
事業目的と 取組内容	心理的・情緒的・家庭環境などの問題から心理状態が不安定な生徒に対してきめ細かな指導・支援を行う。生徒指導特別サポート員を会計年度任用職員として活用し、様々な問題を抱える生徒を支援するために市内中学校4校に配置した。						
実施結果 と成果	・配置校及び任用数・・・市内全中学校(4校)に1名ずつ計4名を配置 ・不登校傾向にある生徒や問題行動を抱える生徒に対して、学級担任や教育相談担当、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し、上記のような指導・支援を行い、生徒一人一人に寄り添うことができた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	中学校では生徒指導サポート員が別室登校の生徒の指導にあたる等、一人一人の心情に寄り添った支援に大きな成果を挙げている。今後も、生徒指導サポート員を継続して配置する必要があると考えている。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	27 学校カウンセラー活用事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(イ)	
事業目的と 取組内容	いじめ・不登校など学校生活において児童・生徒及び保護者が抱えている問題や悩みに対して適切に対応し、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるように学校カウンセラーを配置する。臨床心理士等の資格や心理臨床業務等の経験を有し「心の専門家」として専門的相談技術を持つ者を学校カウンセラーとして任用し、小学校、中学校及び義務教育学校に会計年度任用職員として配置した。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県費カウンセラーの配置時数に加えて市費でカウンセラー8名を任用し、小学校、中学校及び義務教育学校(12校)に配置することで、1日あたりの勤務時間及び年間勤務日数を増やし、教育相談体制の充実を図った。学校カウンセラーの専門性を生かすための取組を行った。 ・小学校、中学校及び義務教育学校において積極的に相談活動を展開し、児童・生徒、教職員、保護者の心の安定を図ることができた。また、カウンセラーの専門性を生かし、ケース会議の運営や支援内容に関する適切な助言が教職員の児童・生徒への理解や有効な支援につながった。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	児童・生徒や保護者の相談はもちろん、問題行動、不登校などについても、担任や養護教諭、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら対応にあたっており、大きな成果を挙げている。引き続きカウンセラーを配置し、各学校の相談体制の充実を図っていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	3	4	4.3	B

教育行政方針 重点施策名	28 教育支援センター運営事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(ウ)	
事業目的と 取組内容	心理的・情緒的・身体的・社会的要因を背景に、「登校しない」あるいは「登校したくてもできない」状態の児童生徒に対する指導・支援を行う教室として設置する。大間々教室、笠懸教室の2教室に、相談員、指導員を配置し、来所する児童・生徒への指導、保護者への支援、学校との連携を図り、学校復帰に向けた指導・支援を行った。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センター(なごみ教室笠懸・なごみ教室大間々)に通室する児童・生徒一人一人に合わせた支援プログラムを実施している。この支援プログラムは、個に応じた学習課題から児童・生徒の相互交流まで幅広く実施するとともに、地域の関係機関と連携し、専門性の高い対応となるようにした。 ・保護者の対応を含め、個に応じたきめ細かな対応をした結果、どの児童・生徒についても学校への適応改善がみられた。また、通室児童・生徒以外にも、随時体験通所を受け入れ、適応改善につなげることができた。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	教育支援センターでは、全く学校に通学できない、又は学校以外の場所であれば通える児童・生徒のために、適切な学習の機会を提供することが重要であり、その方法について検討していきたい。また、再登校や社会的自立に向けた支援の在り方についても引き続き検討していく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	29 いじめ防止対策推進事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(エ)	
事業目的と 取組内容	いじめ防止に関係する機関及び団体の連携を推進し、いじめ防止に向けた対策の実効性を高める。令和5年度は、みどり市いじめ問題対策連絡協議会、みどり市いじめ問題専門委員会を開催し、関係機関と連携し、いじめ防止に向けた取組を行った。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題専門委員会では、みどり市におけるいじめの現状を報告したり、いじめの未然防止に向けた対策を説明したりするなど、みどり市のいじめ防止に関わる取組について理解していただくとともに、指導・助言をいただいた。 ・いじめ問題専門委員会では、重大事態が起きたときの対応について、重大事態対応に関わった方からの情報や他県の例をもとに検討したり、年度内に改訂される「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」について情報共有を行ったりした。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題専門委員会は、みどり市のいじめ防止活動において、重要な役割を果たす組織であり、今後も開催方法等を工夫しながら実施していく必要がある。特に、いじめ問題専門委員会では、重大事態発生時に実際にどう動くのか共通理解を図っておき、もしものときにすぐに動き出せる体制を構築しておく必要がある。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	4	3	4	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	30 学力向上対策支援員事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(オ)	
事業目的と 取組内容	児童・生徒の個に応じた指導、きめ細かな指導の充実を図る。 個に応じたきめ細かな指導を行うため、教員免許を持つマイタウンティーチャーを会計年度任用職員として任用し、小学校、中学校及び義務教育学校に配置した。						
実施結果 と成果	・配置校及び任用数…小学校、中学校及び義務教育学校15名 ・支援員を配置することにより、個に応じた指導やきめ細かな指導、学習習慣の定着等の指導の充実が図られ、学力向上に貢献した。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	1人1台端末の整備など、教育現場の現代的課題にもきめ細かく対応していくため、学力向上対策支援員の配置は必要である。全国的にも任用を希望する教員免許所有者が減少しており、教員免許所有者を確保することが困難となっている。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	31 きめ細かな指導充実支援員配置事業	重点施策 コード	2	(5)	イ	(オ)	
事業目的と 取組内容	「GUNMAニューノーマルクラスプロジェクト」により、小学1・2年30人学級から小学3年から中学3年35人学級への移行時に学級減となり、1学級の児童数が増加するため、支援員を配置し、きめ細かな指導を継続充実させ、児童の学力向上及び心身の健全育成を図る。						
実施結果 と成果	・配置校及び任用数…3名配置(笠小・笠東小・笠西小) ・きめ細かな指導充実支援員を配置することにより、教師が児童一人一人に関わる時間が増え、学級の人数の急激な増加による戸惑いや不適応に対応することができ、児童が安心して学校生活を送ることができている。また、個に応じた指導や、きめ細かな指導、学習習慣の定着等の指導の充実が図られ、学力向上に貢献した。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	1学級の児童生徒数が増える学級では、教師が一人一人に関わる時間が短くなり、児童・生徒の学習面や生活面での戸惑いや不適応に対応しきれない状況が起こる。今後もこのような状況は発生していくため、引続き本事業を継続していくことが必要である。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	32 部活動指導員配置事業	重点施策 コード	2	(5)	エ	(イ)	
事業目的と 取組内容	部活動の地域連携・地域展開に向け、地域人材を部活動指導員として配置し、専門的な指導による部活動の充実及び質的な向上等により部活動の適正化を図る。 生徒の競技力の向上や教職員の資質向上とともに、部活動業務に関わる負担軽減を図る。						
実施結果 と成果	・笠中…卓球・バレーボール・吹奏楽(4名) ・笠南中…ソフトボール・男子ソフトテニス・卓球(3名) ・大中…卓球・剣道(2名) ・大東中…吹奏楽部(1名) 笠懸中学校卓球部では年間183時間、バレーボール部では年間68時間と138時間、吹奏楽部では年間175時間、笠懸南中学校ソフトボール部では210時間、男子ソフトテニス部では210時間、卓球部では178時間、大間々中学校卓球部では210時間、剣道部では208時間、大間々東中学校吹奏楽部では年間210時間、指導いただいた。このことにより、担当顧問教職員の部活動に関わる指導時数を軽減することができた。また、部活動指導員は週休日に指導ができるので、担当顧問教職員の心身の負担軽減にもなっている。更に、大会等への引率も可能であるため、担当顧問教職員が競技役員となった際に生徒への指導・対応ができ、安全確保の面からも成果があった。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	・部活動指導員を合同部活動で活用するなど、休日の部活動地域移行に向けて、地域人材を活用した連携を進めていく。	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	33 教職員健康管理事業	重点施策 コード	2	(5)	エ	(ウ)	
事業目的と 取組内容	健康安全保健法等に基づき、教職員の心身の健康管理を行う。 教職員健康診断、教職員エックス線検査、胃がん検診、ストレスチェックを実施した。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種感染症対策を行いながら、健康診断、X線検査、胃がん検診、ストレスチェックを実施することができた。 学校保健安全法等で示されている健康診断などを全て実施し、受診した教職員に結果を示すことができた。ストレスチェックでは、管理職に集団分析結果を示し、学校運営に生かせるようにした。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>各種感染症の影響も少なく、概ね事業の目的を達成したといえる。</p> <p>本事業は、教職員の健康管理には欠かせない事業である。今後も感染症等の対策を十分に行いながら実施していく。</p>	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	34 語学指導者設置事業	重点施策 コード	2	(5)	オ	(ア) (イ)	
事業目的と 取組内容	学校へALT(語学指導助手)を配置し英語の授業等でネイティブの発音に触れることにより、小学校及び義務教育学校前期課程ではコミュニケーション能力の素地を、中学校及び義務教育学校後期課程ではコミュニケーション能力の基礎を習得する。異文化に対する理解の推進を図る。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小学校、中学校及び義務教育学校に、JETプログラム(国の斡旋)によるALTを2名、直接雇用を3名、民間企業との業務委託契約によるALTを6名の合計11名を配置した。 英語によるコミュニケーション活動を大切にした授業展開が図られた。また、ALTを通して他国の家庭での生活習慣や学校生活など、他国の文化に触れ国際理解を深めることができた。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>学習指導要領では、小学校高学年において週2時間の英語科、中学年において週1時間の外国語活動が教育課程に位置づけられ、全ての小学校で3~4年生年間35時間、5~6年生70時間の実施が義務付けられている。英語力向上の観点から、小学校及び義務教育学校でのネイティブ・スピーカーの活用は必須であり、ALTの継続配置の必要がある。</p>	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	35 教育支援員配置事業	重点施策 コード	2	(5)	カ	(ア)	
事業目的と 取組内容	通常学級及び特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童・生徒を支援するための「教育支援員」を配置し、支援を必要とする児童・生徒の情緒面の安定及び学校生活や集団生活への適応を図り、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。 不登校児童・生徒を支援するための「不登校対策支援員」を笠懸の小学校に配置し、不登校児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。						
実施結果 と成果	<ul style="list-style-type: none"> 任用数…59名(教育支援員55名・不登校対策支援員4名)を配置 【教育支援員】 特別支援学級や通常学級において特別な教育的支援を必要とする児童・生徒に対して、学級担任や教科担任と連携して介助や支援を行った。 教育支援員の適切な支援により、児童・生徒の情緒面の安定及び学校生活や集団生活への適応が図られ、落ち着いた雰囲気の中で学習を進めることができた。また、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができた。 【不登校対策支援員】 不登校対策支援員の配置により、不登校児童・生徒に対して支援を行うことができ、安心して学校生活を送ることができた。 						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>市内の学校で特別支援学級に在籍している児童・生徒数は年々増加している。また、通常学級でも支援を必要とする児童・生徒が増えていることから、教育支援員を柔軟に配置することで、通常学級における支援の充実にもつながっている。</p>	事業評価（数値化）					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	4	5	4.8	A

教育行政方針 重点施策名	36 小学校通級指導教室運営事業	重点施策 コード	2	(5)	カ	(ア)	
事業目的と 取組内容	特別な支援を必要とする児童が在籍する通級指導教室で、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行う。 通級指導教室で使用する、教材や教具、ファイル、色鉛筆、再生紙等を購入した。						
実施結果 と成果	笠懸小学校内通級指導教室49名(笠懸小学校36名、笠懸東小学校2名、笠懸北小学校6名、笠懸中学校5名) 大間々南小学校内通級指導教室31名(大間々南小学校11名、大間々東小学校6名、大間々北小学校9名、大間々中学校1名、大間々東中学校4名) 笠懸西小学校内通級指導教室48名(笠懸西小学校41名、笠懸中学校7名) フラットファイル、コピー用紙、色鉛筆、折り紙、教材集等を購入した。 児童・生徒の困難さやその生徒の特性による困難さを理解し、一人一人に合った指導目標を立て、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行い、本人の得意な面からアプローチすることができた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	通級指導が、困難さを抱えた児童・生徒やその保護者にとって、安心できる時間や場所となり通常の学級において児童・生徒の自信や意欲につながるように、今後も継続して指導していくことが必要である。需要は年々高まっていることと、中学生も指導を受けられるようになったこと等を鑑みると、通級指導教室の増設を考える必要がある。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	37 防犯カメラ設置事業	重点施策 コード	2	(5)	キ	(ウ)	
事業目的と 取組内容	市内小学校、中学校及び義務教育学校に防犯カメラを設置することで、防犯体制を強化し、不審者侵入等の緊急時に備える。						
実施結果 と成果	・笠懸西小学校のカメラ防犯委託契約を継続し、故障や負傷時の早期対応を行える体制を整えた。 ・市内小学校、中学校及び義務教育学校に設置済みのカメラ122台に対しては定期点検や修繕を実施し、全台が正常に稼働する状態を維持した。令和6年度の修理件数は1件。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	令和7年度に、現在のリース契約が満了となる。更新方法や機器の入替など、コストカットをしつつ現状の安全環境を維持できる方法を具体的に考えていく。	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	3	5	4.5	A

教育行政方針 重点施策名	38 LED照明改修事業	重点施策 コード	2	(5)	キ	(ク)	
事業目的と 取組内容	市内小学校6校(笠懸西小学校を除く)の屋内運動場照明について、既設の蛍光灯及び水銀灯の生産が終了することや、消費電力・環境負荷の低減が見込まれることから、避難所に指定されている体育館から整備を進めるもの。						
実施結果 と成果	令和6年度に予定していたLED照明改修工事(市内小学校6校(笠懸西小学校を除く)の屋内運動場)はすべて完了した。LED照明設置後の電気使用料は、前年度と同じ時期と比べて約2%減少となった。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	令和7年度に笠懸東小学校、笠懸中学校、笠懸南中学校の校舎LED改修工事を実施予定 その他、校舎LED照明工事を順次実施予定 令和8年度 大東小、大東中、あずま小中 令和9年度 笠小、大北小、大南小、大中 令和10年度 笠北小	事業評価(数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	3	4	4	3.8	B

教育行政方針 重点施策名	39 就学援助事業	重点施策 コード	2	(5)	ク	(イ) (ウ)	
事業目的と 取組内容	経済的理由により就学困難と認められる小学校、中学校及び義務教育学校の児童・生徒等の保護者 に対して、学用品費等の一部を支給し、保護者の経済的負担軽減を図る。						
実施結果 と成果	・「みどり市児童・生徒就学援助費支給要綱」に基づき、市内に住所を有する小学校の児童、中学校の 生徒又は就学予定者の保護者182世帯へ、合計16,481,143円(小学校費5,834,789円167人、中学校費 5,971,303円103人、義務教育学校費290,706円6人)の援助費を支給した。 ・援助費を支給することにより、当該児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減した。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	制度上の援助費支給は問題なく行っている。 今後は、物価高騰などの社会全体の経済状況を注 視していく。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	40 特別支援学級補助事業	重点施策 コード	2	(5)	ク	(イ)	
事業目的と 取組内容	特別支援学級に在籍する児童・生徒の教育活動に係る経費の一部を補助金として学校に交付し教育 活動で要する経費の一部に充てることで、児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減する。						
実施結果 と成果	・特別支援学級補助金交付要綱に基づき、市立小学校、中学校及び義務教育学校12校2分教室へ合 計795,380円の補助金を交付した。 ・補助金を交付することにより特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担が軽減し た。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	特別支援学級では児童・生徒に合わせた教材や体 験活動がとても効果的であり、購入費用や施設利用 費用を補助していくことで、今後も特別支援教育の 充実を図る。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育行政方針 重点施策名	41 特別支援教育就学奨励事業	重点施策 コード	2	(5)	ク	(イ)	
事業目的と 取組内容	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、学用品費や校外活動費の一部を支給し、保護 者の経済的負担軽減を図る(国庫補助事業)。						
実施結果 と成果	・文部科学省の定める「特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令第2条の規定に基づく保護 者等の属する世帯の収入額及び需要額の算定要領」に基づき、市立小学校、中学校及び義務教育学 校の特別支援学級に在籍する児童76人(義務教育学校前期課程含む)へ計861,354円、生徒44人(義務 養育学校後期課程含む)へ計1,312,254円の奨励費を支給した。 ・奨励費を支給することにより、当該児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減した。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	国庫補助を活用しながら事業を継続することで、 今後も特別支援学級に就学する児童・生徒の経済 的負担を軽減することができる。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		5	5	5	5	5.0	A

教育委員会事業評価 実績一覧(資料)

教育総務課が行った市内小学校・中学校の施設整備に係る維持管理業務と整備改修業務について、その概要をまとめました。

○笠懸小学校等体育館LED工事



○大間々中学校校舎外壁改修工事



○ 上記の他に行われた令和6年度の小中学校施設整備改修事業一覧

小学校

予定された工事(主なもの)

- 1 体育器具改修工事(小学校分)
- 2 笠懸東小学校体育館トイレ改修工事
- 3 笠懸北小学校給食調理用ボイラー改修工事
- 4 大間々北小学校児童玄関庇防水改修工事
- 5 大間々東小学校ペントハウス外壁改修工事

緊急工事(主なもの)

- 1 笠懸小学校貯水槽補修工事
- 2 笠懸東小学校職員室エアコン改修工事
- 3 笠懸東小学校体育館庇補修工事
- 4 大間々北小学校南門舗装改修工事
- 5 大間々南小学校漏水復旧工事
- 6 大間々東小学校体育館屋根パラペット防水補修工事
- 7 大間々東小学校プール防水補修工事

中学校等

予定された工事(主なもの)

- 1 体育器具改修工事(中学校分)
- 2 笠懸中学校トイレ改修工事(第2期)
- 3 笠懸南中学校貯水槽補修工事
- 4 大間々東中学校南校舎一部外壁改修工事
- 5 あずま小中学校放送・音響設備更新工事

緊急工事(主なもの)

- 1 笠懸中学校給食室雨漏り補修工事
- 2 笠懸中学校プールろ過装置自動制御盤改修工事
- 3 笠懸中学校プール排水ポンプ更新工事
- 4 笠懸中学校エアコン改修工事
- 5 大間々中学校体育館屋根防水補修工事
- 6 あずま小中学校教室床一部補修工事
- 7 あずま小中学校親時計更新工事



基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
文化財の保護 文化財の活用	42	文化財保存活用事業	文化財課	C	C	B
	43	埋蔵文化財保存事業	文化財課	C	C	C
博物館・展示施設の適正管理	—	岩宿文化賞事業(5年度から岩宿博物館事業へ統合)	文化財課	B	—	—
	44	岩宿博物館事業	文化財課	B	B	B
	45	大間々博物館事業	文化財課	B	B	B
	46	旧花輪小学校記念館事業(5年度開始)	文化財課	—	B	B

◎総合計画における施策と成果指標

総合計画施策名	文化財の保護と活用	担当課	文化財課		
施策の成果指標	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数	体系コード	2	3	1 2
		成果指標の現状値	6件 3.93箇所		

基本事業名	文化財の保護 文化財の活用					
基本事業成果指標	指定・登録文化財数	現状値 (2021年度)	86件	⇒	めざそう値 (2027年度)	88件
	継続的に継承できる無形民俗文化財数		4団体			4団体
	文化財活用事業への年間述べ参加者数		3,944人			6,000人

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	42 文化財保存活用事業	重点施策 コード	3	(1) (2)	ア ウ	(ア) (ア)(イ)		
事業目的と 取組内容	<p><事業目的>文化財を適正に保護し、後世に継承できるよう推進する。文化財がよく知られ、活用されるように啓発を図る。</p> <p><取組内容>文化財保護審議会による文化財調査の実施。定期的な文化財の見回りによる現状把握と対処。文化財の 保存・伝承のための助成や助言など。</p>							
実施結果 と成果	<p>◎主要な事業の実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡岩宿遺跡遺構保護観察施設 公開:307日 来場者:15,748人(前年比+2,269人) ・西鹿田中島遺跡ガイダンス施設 公開:306日 来場者: 489人(前年比 +43人) <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相澤忠洋蒐集考古資料」が令和6年8月27日に国の登録有形文化財に登録された ・令和6年9月10日に「相澤忠洋関係資料」が群馬県登録有形文化財の第1号となった。 ・史跡岩宿遺跡保存整備基本設計業務(第Ⅰ期)を実施し、保存整備に係る諸条件の洗い出しを行った。 							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	史跡岩宿遺跡の保存、活用、安全対策を行うため、「史跡岩宿遺跡保存整備基本計画」に基き、史跡整備の条件整理として、「史跡岩宿遺跡保存整備基本設計(第Ⅰ期)」業務を実施した。令和7年度は(第Ⅱ期)を策定し、実施設計に向けた各種事業に取り組む。また、文化財の衰退・滅失防止に対処するため、文化財保護審議会と協議する必要がある。		事業評価(数値化)					
			必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
			5	4	3	4	4.0	B

教育行政方針 重点施策名	43 埋蔵文化財保存事業	重点施策 コード	3	(1) (2)	ア イ	(イ) (ア)		
事業目的と 取組内容	<p><事業目的>周知の包蔵地内における開発行為に関して、埋蔵文化財の取扱いに関する事前協議及び緊急発掘調査を実施し、遺跡の記録保存と適正な管理を行う。</p> <p><取組内容>周知の遺跡内における開発行為に係る届出書の受理、行政指導、発掘調査の実施。市内遺跡埋蔵文化財Web公開システムの公開。</p>							
実施結果 と成果	<p>◎主な事業の実施結果(埋蔵文化財に係る届け出の受理・行政指導・発掘調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地照会及び回答件数 309件(前年比+64件) ・発掘届出書、通知書受理件数 27件(前年比+10件) ・試掘・確認調査・本調査実施件数 5件(前年比+2件) ・発掘届出書に対する指示・勧告件数 27件(前年比+9件)【内訳:工事立会6件、慎重工事21件】 <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査報告書『みどり市内遺跡14』を刊行 							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	発掘調査に係る後継者の育成が急務です。調査は、学芸員の専門知識と実務経験が不可欠なため、相応の現場経験が必要となり、人材育成が課題となっている。また、みどり市独自の埋蔵文化財Webシステムを構築しているが、最新情報への更新に時間を要しているため、業務効率化が課題となっている。		事業評価(数値化)					
			必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
			5	3	3	3	3.5	C

教育委員会事業評価シート

No.44～46

◎総合計画における施策と成果指標

総合計画施策名	文化財の保護と活用	担当課	文化財課		
施策の成果指標	毀損・修理又は保存整備を要する指定・登録文化財数 市民が認識している市内文化財数	体系コード	2	3	1 2
		成果指標の現状値	6件 3.93箇所		

基本事業名	文化財の活用 博物館・展示施設の適正管理					
基本事業成果指標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数	現状値 (2021年度)	17,209人	⇒	めざそう値 (2027年度)	25,000人
	文化財活用事業への年間延べ参加者数		3,944人			6,000人
	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数		26件			18件

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	44 岩宿博物館事業	重点施策 コード	3	(2) (3)	ウ エ ア	(ア)(イ) (カ)以外 (イ)		
事業目的と 取組内容	<p><事業目的>文化財がよく知られ、活用されるように文化財活用事業の充実を図る。博物館や展示施設の適切な維持管理を行う。</p> <p><取組内容>展示事業、体験学習事業、相澤忠洋資料保存活用事業、講座事業など</p>							
実施結果 と成果	<p>【入館実績】開館日数：307日、観覧者数：18,450人(前年比+1,594人)、利用者：9,039人(前年比3,037人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示事業 企画展『縄文時代の始まりと洞窟遺跡』のほか5回の展示事業を開催 ・体験学習事業 石器作り・まが玉作り、米っこクラブ等の体験学習を実施 利用団体：52団体、体験参加者：3,278人、米っこクラブ(8回：145人参加) ・相澤忠洋資料保存活用事業 「相澤忠洋関係資料」(5,601点)が群馬県登録有形文化財へ登録(9/10) ・講座事業 岩宿大学(5講座：167人参加)、岩宿フォーラム(109人参加) 					 <p>米っこクラブの田植え</p>		
課題と今後の 改善に向けた 方向性	平成4年の開館から30年以上が経過し、機器の老朽化や展示の中に最新の研究成果と合わない箇所がみられる。また、令和4年に寄贈された相澤忠洋資料を常設展示に組み込み、相澤氏の業績を恒久的に顕彰していく必要があることから、常設展示等の改修工事を進める。		事業評価（数値化）					
			必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
			5	4	4	4	4.3	B

教育行政方針 重点施策名	45 大間々博物館事業	重点施策 コード	3	(2) (3)	エ ア	(ウ)(エ) (ア)(イ)		
事業目的と 取組内容	<p><事業目的>文化財がよく知られ、活用されるように文化財活用事業の充実を図る。博物館や展示施設の適切な維持管理を行う。</p> <p><取組内容>展示事業、体験学習事業、イベント開催など</p>							
実施結果 と成果	<p>【入館実績】開館日数：306日、観覧者数：6,697人(前年比+242人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示事業 企画展『大きな昆虫！小さな昆虫！』のほか7回の展示事業を開催 ・体験学習事業 『カブトムシ教室』等の体験学習を実施 					 <p>第106回企画展ポスター</p>		
課題と今後の 改善に向けた 方向性	市指定重要文化財である建物の活用と老朽化した施設の維持管理の両立について検討する必要がある。また、みどり市市制施行20周年に向け、改めて市民の認知度向上を目指した企画展示事業の実施とインクルーシブミュージアムへの取り組みが課題と捉えている。		事業評価（数値化）					
			必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
			4	4	3	4	3.8	B

教育行政方針 重点施策名	46 旧花輪小学校記念館事業	重点施策 コード	3	(2)	エ	(カ)		
事業目的と 取組内容	<p><事業目的>文化財がよく知られ、活用されるように文化財活用事業の充実を図る。博物館や展示施設の適切な維持管理を行う。</p> <p><取組内容>展示事業、イベント開催、体験学習、ワークショップ開催など</p>							
実施結果 と成果	<p>【入館実績】開館日数：308日、来館者数：2,865人(前年比+701人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月1日から10月31日までの1ヶ月間、「リニューアルオープン1周年記念月間」として無料開館を行った。週末に近隣在住のアーティストによる音楽イベントや鉄道模型展示を開催したほか、小池アミーゴ氏による「みどりはなわ展覧会」が期間中に行われた。 ・企画展示会を3回計画し、かつて東町に存在した「杲小学校」「沢入小学校」「花輪小学校」の紹介を行う展示会を開催した。 ・その他、校外学習や教室を貸し切った撮影会、会議などを受入れ、集客の増加に努めた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>沢入小学校の学校教育 ～中山園地の教育を伝える～ 8/4～10/14開催</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>星野富弘の学び舎 ～杲小学校～ 12/10～2/2開催</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学びの園地を今に伝える 花輪小学校 3/18～5/11開催</p> </div> </div>							
課題と今後の 改善に向けた 方向性	夏場の熱中症対策が課題であったため、ウォーターサーバーを設置した。また、廊下扉が閉まりにくいなど、警備上の課題があり、一部の扉を改修して対処した。各部屋の冷房は、登録有形文化財であることから、県や国との協議を進める。東公民館閉館後のトイレ環境改善のため、屋外トイレ新設工事設計業務を完了した。		事業評価（数値化）					
			必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
			4	3	4	4	3.8	B

岩宿博物館、大間々博物館及び富弘美術館の3館は、「博物館法」に基づき設置された施設です。ここでは、この3館の利用状況について、その概要を一覧できるようにまとめてみました。

岩宿博物館

4年度開館日数	入館者数	
302	来場者総数	21,327
	来場者のうち観覧者数	16,349
	来場者のうち利用者数	4,978
5年度開館日数	入館者数	
308	来場者総数	22,858
	来場者のうち観覧者数	16,856
	来場者のうち利用者数	6,002
6年度開館日数	入館者数	
307	来場者総数	27,489
	来場者のうち観覧者数	18,450
	来場者のうち利用者数	9,039



大間々博物館

4年度開館日数	入館者数	
307	来場者総数	5,906
	来場者のうち観覧者数	5,906
	来場者のうち利用者数	
5年度開館日数	入館者数	
307	来場者総数	6,455
	来場者のうち観覧者数	6,455
	来場者のうち利用者数	
6年度開館日数	入館者数	
306	来場者総数	6,697
	来場者のうち観覧者数	6,697
	来場者のうち利用者数	



富弘美術館

4年度開館日数	入館者数	
337	来場者総数	54,740
	来場者のうち観覧者数	43,966
	来場者のうち利用者数	10,774
5年度開館日数	入館者数	
337	来場者総数	64,382
	来場者のうち観覧者数	43,467
	来場者のうち利用者数	20,915
6年度開館日数	入館者数	
336	来場者総数	68,002
	来場者のうち観覧者数	58,005
	来場者のうち利用者数	9,997



※ 観覧者数とは、作品展示物の観覧のために入館した人数

※ 利用者数とは、学校等への出張授業、館外で開催された事業参加者等、観覧目的ではなく施設を利用された人数

基本事業：青少年の健全育成の推進

めざす姿：教育、相談活動が充実し、青少年が健全に育成されます

青少年健全育成活動への参加率

めざそう値 15.0%
(基本事業の成果指標)

2事業

安全な暮らしの推進

交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合
めざそう値 80.0% (施策の成果指標)

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
青少年の健全育成の推進	47	子どもの学び支援事業	社会教育課	B	B	B
	48	青少年健全育成事業	社会教育課	B	B	B

基本事業：人権教育・啓発の推進

めざす姿：さまざまな人権問題への理解を深め、市民が互いの基本的人権を尊重し合い、人権を侵害しなくなります

各種人権侵害措置件数

めざそう値 0件
(基本事業の成果指標)

人権に関する相談件数

めざそう値 330件以下
(基本事業成果指標)

1事業

人権尊重の推進

この1年間で人権が侵害されたことがある市民割合
めざそう値 5.0%以下 (施策の成果指標)

基本事業名	番号	事業名	担当課	評価		
				4年度	5年度	6年度
人権教育・啓発の推進	49	人権教育事業	社会教育課	B	B	B

◎総合計画における施策と成果指標

総合計画施策名	安全な暮らしの推進	担当課	社会教育課		
施策の成果指標	交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合	体系コード	3	3	4
		成果指標の現状値	74.00%		

基本事業名	青少年の健全育成の推進					
基本事業成果指標	青少年健全育成活動への参加率	現状値 (2021年度)	9.5%	⇒	めざそう値 (2027年度)	15%

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	47 子どもの学び支援事業	重点施策 コード	4	(1)	ア	(ア)	
事業目的と 取組内容	子どもたちの学校外活動を地域ボランティアで支えることにより、地域全体で健全育成を推進する。夏休みを子どもたちが自主的に学習するための環境づくりとして、公民館の会議室等を開放し、グループでの学習を支援するとともに、大学生等の地域ボランティアによる学習支援を行う。						
実施結果 と成果	事前に学習支援ボランティアを募集(22名)し、説明会を実施しボランティア内容を説明した上で事業に参加いただいた。 笠懸公民館では8日間(延べ236名参加)、大間々・東公民館では4日間(延べ60名)実施した。 子どもたちとボランティア両者に、関わる機会の少ない年代の人との貴重な機会を提供することができた。						
課題と今後の 改善に向けた 方向性	事業実施に欠かせないボランティアの確保が課題である。 最近では学生ボランティアの応募者が多いことから、公民館に勉強に来る学生に声をかけたり、近隣の高校や大学、専門学校等との連携も視野に、募集の手立てを検討したい。 参加する小中学生の集中力を保つための工夫等もより具体的に考える必要がある。	事業評価 (数値化)					
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果
		4	3	4	4	3.8	B

教育行政方針 重点施策名	48 青少年健全育成事業	重点施策 コード	4	(1)	ア	(イ)																																				
事業目的と 取組内容	子どもたちが安心して生活できる地域環境をつくり、青少年を健全に育成するため、地域に密着した青少年健全育成活動を推進し、市民の青少年健全育成に対する意識を向上させる。 青少年センター相談員及び補導員並びに青少年育成推進による活動を実施した。あわせて、少年の主張大会、青少年健全育成大会、二十歳の集い～三十歳～等は通常開催となった。																																									
実施結果 と成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実績・ 成果</th> <th colspan="2">事業名</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>少年の主張みどり市大会</td> <td>来場者数</td> <td>64人</td> <td>111人</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>非行防止標語コンクール</td> <td>応募者数</td> <td>2,471人</td> <td>2,410人</td> <td>2,302人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年健全育成大会</td> <td>来場者数</td> <td>136人</td> <td>144人</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少推パトロール・広報</td> <td>回数</td> <td>14回</td> <td>13回</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>街頭指導</td> <td>延べ人数/回数</td> <td>142人/60回</td> <td>342人/118回</td> <td>358人/117回</td> </tr> </tbody> </table>						実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度		少年の主張みどり市大会	来場者数	64人	111人	125人		非行防止標語コンクール	応募者数	2,471人	2,410人	2,302人		青少年健全育成大会	来場者数	136人	144人	181人		青少推パトロール・広報	回数	14回	13回	22回		街頭指導	延べ人数/回数	142人/60回	342人/118回	358人/117回
	実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度																																				
		少年の主張みどり市大会	来場者数	64人	111人	125人																																				
	非行防止標語コンクール	応募者数	2,471人	2,410人	2,302人																																					
	青少年健全育成大会	来場者数	136人	144人	181人																																					
	青少推パトロール・広報	回数	14回	13回	22回																																					
	街頭指導	延べ人数/回数	142人/60回	342人/118回	358人/117回																																					
	スマートフォンやゲーム機などの正しい使用方法を啓発するリーフレット「おぜのかみさま」を使用した啓発活動等を実施した。																																									
課題と今後の 改善に向けた 方向性	青少年の健全育成のためには、家庭や地域との連携がとて重要になっている。 引き続き、より多くの方に青少年の健全育成事業を理解していただくために、各種大会や活動内容を知らせてもらえるようにPRしていくかを検討する。	事業評価 (数値化)																																								
		必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																																			
		5	4	4	4	4.3	B																																			

教育委員会事業評価シート

No.49

◎総合計画における施策と成果指標		担当課	社会教育課		
総合計画施策名	人権尊重・多文化共生の推進	体系コード	7	2	1
施策の成果指標	この1年間で人権が侵害されたことがある市民割合	成果指標の現状値	13.50%		

基本事業名	人権教育・啓発の推進					
基本事業成果指標	各種人権侵害措置件数	現状値 (2021年度)	0件	⇒	めざそう値 (2027年度)	0件
	人権に関する相談件数	300件				330件

◎基本事業実現に向けた令和6年度教育行政方針により実施された事業の評価

教育行政方針 重点施策名	49 人権教育事業	重点施策 コード	5	(1)	ア	(ア) (イ)																														
事業目的と 取組内容	<p>市民一人一人が互いの生命と人権を尊重し、あらゆる差別と偏見をなくすための学習機会や活動の充実を図るとともに、地域や職場における人権教育のリーダーとなる人材を養成する。</p> <p>人権教育事業として、「女性の人権(市民対象)」、「指導者養成講座(教職員対象)」を開催した。また、啓発事業として「みどり市人権展」を開催するとともに、子どもたちが作った人権標語の代表作品を印字したクリアフォルダを作成し、園児・児童・生徒に配付し、人権問題啓発を実施した。</p>																																			
実施結果 と成果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">実績・ 成果</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">R4年度</th> <th style="text-align: center;">R5年度</th> <th style="text-align: center;">R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">人権教育指導者養成講座</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: center;">11人</td> <td style="text-align: center;">15人</td> <td style="text-align: center;">16人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">人権教育啓発講座</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: center;">46人</td> <td style="text-align: center;">50人</td> <td style="text-align: center;">31人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">人権展</td> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">7,486点</td> <td style="text-align: center;">7,150点</td> <td style="text-align: center;">7,581点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">人権標語クリアフォルダ配付</td> <td style="text-align: center;">配布数</td> <td style="text-align: center;">5,260枚</td> <td style="text-align: center;">5,500枚</td> <td style="text-align: center;">5,500枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>人権教育指導者養成講座は、「部落問題の現状と課題について」をテーマに、教職員向け講座として実施し、人権教育啓発講座は、「子どもの人権」をテーマに、民生委員児童委員や教職員、PTA連合会会員等子どもに関わることが多い団体等を対象に実施した。</p> <p>また、市内の幼稚園、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校が、人権教育の一環として作成した作品を展示する「人権展」を笠懸公民館にて開催した。また各校を代表する標語を掲載したクリアフォルダを作成し、園児、児童、生徒に配布することで、人権問題の啓発につなげた。</p>						実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度		人権教育指導者養成講座	参加者数	11人	15人	16人		人権教育啓発講座	参加者数	46人	50人	31人		人権展	出品数	7,486点	7,150点	7,581点		人権標語クリアフォルダ配付	配布数	5,260枚	5,500枚	5,500枚
実績・ 成果	事業名		R4年度	R5年度	R6年度																															
		人権教育指導者養成講座	参加者数	11人	15人	16人																														
	人権教育啓発講座	参加者数	46人	50人	31人																															
	人権展	出品数	7,486点	7,150点	7,581点																															
	人権標語クリアフォルダ配付	配布数	5,260枚	5,500枚	5,500枚																															
課題と今後の 改善に向けた 方向性	<p>時代の変化により、性の多様性やSNS等による人権侵害等、新たな人権問題への対応も求められている。人権問題を学び、気づくことで意識も変わってくるものであるから、市民への意識付けをどのように行うかを検討する必要がある。</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6" style="text-align: center;">事業評価 (数値化)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">必要性</th> <th style="text-align: center;">有効性</th> <th style="text-align: center;">経済性 効率性</th> <th style="text-align: center;">正確性 信頼度</th> <th style="text-align: center;">評価 数値</th> <th style="text-align: center;">評価 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </tbody> </table>				事業評価 (数値化)						必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果	5	4	2	4	3.8	B												
事業評価 (数値化)																																				
必要性	有効性	経済性 効率性	正確性 信頼度	評価 数値	評価 結果																															
5	4	2	4	3.8	B																															